

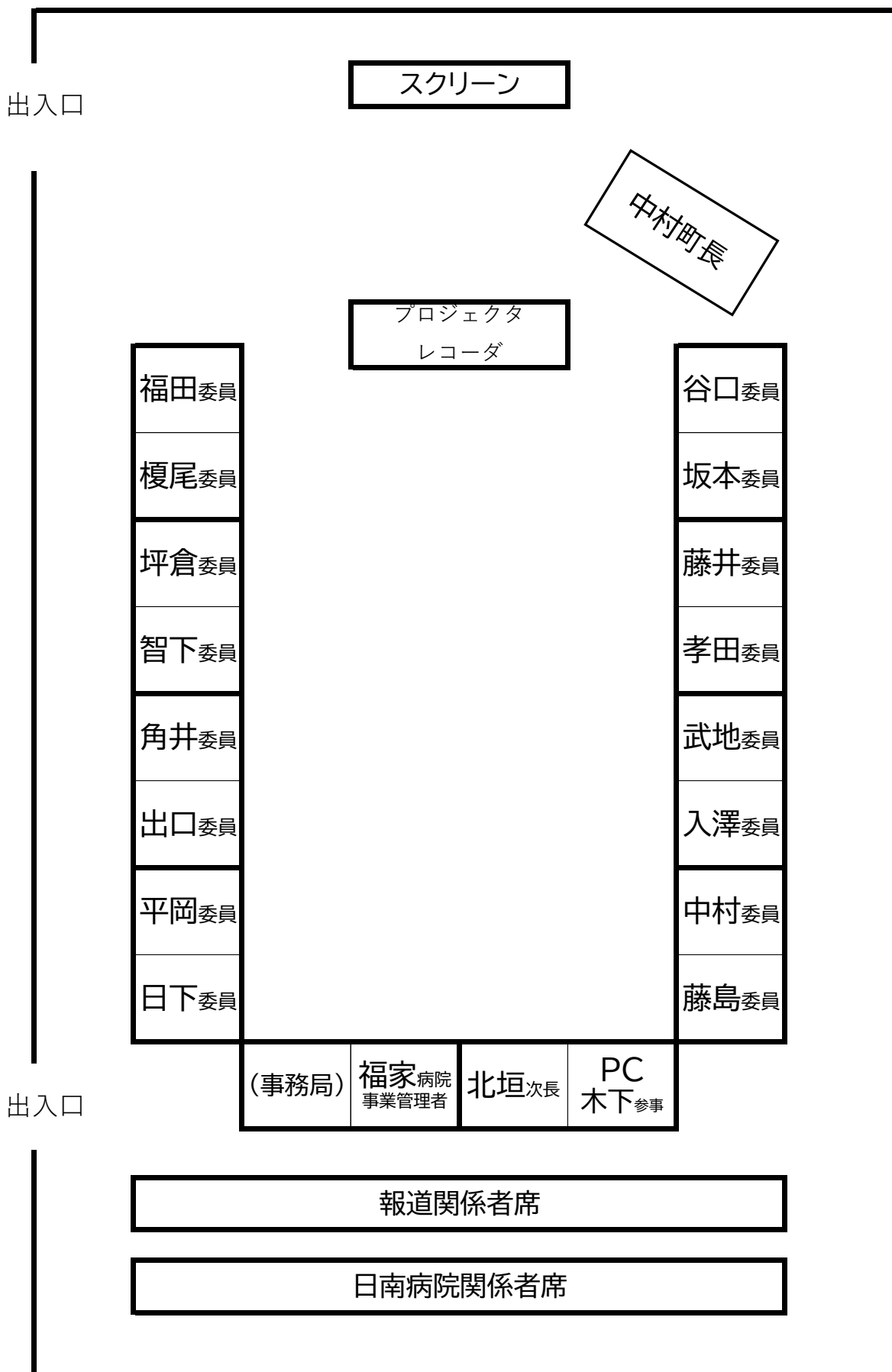
第1回 日南病院あり方検討委員会 次第

日時 令和5年6月13日(火) 17:00～

場所 日南町健康福祉センター 研修室

1. 開会
2. 日南町長挨拶
3. 委員委嘱
4. 委員紹介(自己紹介)
5. 正副委員長選出
6. 正副委員長挨拶
7. 日南町長諮問
8. 経過報告及び検討スケジュール説明
9. 検討事項「病院を取り巻く医療体制の状況」
10. 次回開催日について
11. 閉会(19時終了予定)

日南病院あり方検討委員会 席次表



日南病院あり方検討委員会 委員一覧

(敬称略)

No.	所属	役職名	氏名	区分
1	鳥取大学医学部	地域医療学講座教授	谷口 晋一	識医
2	鳥取県福祉保健部	健康医療局長	坂本 裕子	識
3	鳥取県西部総合事務所	米子保健所長	藤井 秀樹	識医
4	日野病院組合日野病院	病院長	孝田 雅彦	医
5	鳥取県西部医師会	代議員(日野郡)	武地 幹夫	医
6	社会福祉法人 日南福社会	事業統括部長	入澤 良子	福祉
7	日南町社会福祉協議会	会長	中村 秀人	福祉
8	日南町民生児童委員協議会	副会長	藤島 美鈴	福祉
9	日南町商工会	会長	福田 一哉	町民
10	日南町自治協議会	会長	榎尾 稔正	町民
11	町民代表		坪倉 幸徳	町民
12	町民代表		智下えり子	町民
13	日南町	副町長	角井 学	行政
14	日南町 福祉保健課	課長	出口 真理	行政
15	日南町国民健康保険日南病院	副院長(病院長代行)	平岡 裕	病院
16	日南町国民健康保険日南病院	看護部長	日下美恵子	病院

事務局

	日南病院	病院事業管理者	福家 寿樹	
	同 上	事務部 次長	北垣 祐輔	
	同 上	事務部 参事	木下 順久ほか病院職員	

日南病院あり方検討委員会設置要綱

(令和 5 年 4 月 1 日要綱第 41 号)

(目的)

第1条 日南町国民健康保険日南病院（以下「日南病院」という。）施設の老朽化に伴う改築計画及び人口減少が続く診療圏域に必要な医療等のサービスを安定的かつ継続的に提供していただける病院機能や経営のあり方について、町長の諮問を受け基本構想として策定するため、日南病院あり方検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について町長の諮問を受け検討し、その結果を町長に答申するものとする。

- (1) 日南病院の医療提供体制における役割に関すること。
- (2) 日南病院の経営の効率化に関すること。
- (3) 日南病院の建設に関すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、目標達成に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員 17 人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 医療関係者
- (3) 福祉関係者
- (4) 日南町民を代表する者
- (5) 日南町行政関係者
- (6) 日南病院職員

(任期)

第4条 委員の任期は、前条第 2 項の規定による委嘱の日から令和 6 年 3 月 31 日までとする。

2 委員に欠員が生じた場合には、委員長が委員会に諮って必要と認められる場合には委員の補充を行う。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長 1 人及び副委員長 1 人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けた

ときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(関係者の出席)

第7条 委員会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の関係者の出席を求め、意見を聴取し、又は必要な資料等の提出を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、日南病院事務部総務課において処理するものとする。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

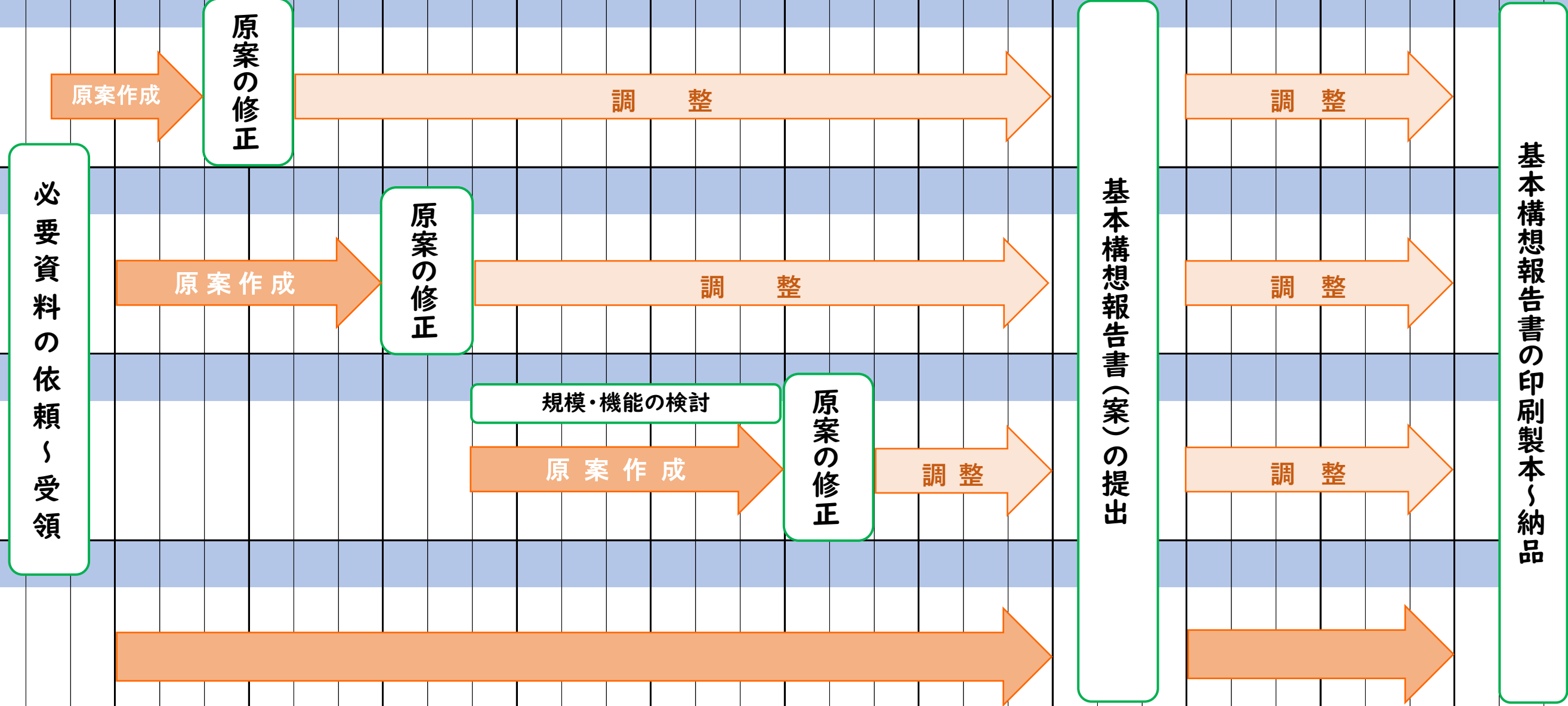
第1回
日南病院あり方検討委員会
会議資料

令和5年6月13日(火)17時 開会
日南町健康福祉センター 研修室

日南町国民健康保険日南病院 新病院基本構想策定支援業務スケジュール（案）

2023/4/26 自治体病院共済会

		令和5年（2023年）										令和6年（2024年）		
		令和5年度												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(日付)		19	24										25	
委員会等	経営強化プラン策定	→												
	令和5年度 基本構想検討委員会（年4回）			①	②				③				④	
	地域医療構想調整会議（承認）											▼		
	町長答申												▼	
	議会報告													▼
	パブリックコメント（経営強化プラン、基本構想）											↔		
新病院基本構想策定支援業務	訪問打合せ（3回）				①			②			③			
	Web打合せ（※必要に応じて実施、○は伊関先生含むお打ち合わせ）	①	②				③							
	1. 病院を取り巻く医療体制の概況													
	・ 地域の概況、人口（人口の推移、人口構造、人口動態）													
	将来人口の予測、患者の受療動向													
	将来患者数の予測													
	2. 病院の現状と問題点													
	・ 病院の現状（運営・経営状況、施設・設備状況）													
	病院の問題点（運営・経営の問題点、施設・設備の問題点）													
	移転改築の必要性													
3. 新病院の規模・機能等														
・ 新病院の役割、新病院の規模・機能														
新病院の診療体制														
事業費概算額														
4. その他両者が協議のうえ必要と認める事項														



第1回

日南病院あり方検討委員会

第1章 病院を取り巻く医療体制の概況

令和5(2023)年6月13日(火)17:00～
日南町健康福祉センター 研修室

1-1. 日南病院 新病院基本構想の構成(全体)

○はじめに

第1章 病院を取り巻く医療体制の概況

- 1.地域の概況
- 2.人口(人口の推移、人口構造、人口動態)
- 3.将来人口の予測
- 4.患者の受療動向
- 5.将来患者数の予測

第1回検討事項 (R5.6.13)

第2章 病院の現状と問題点

- 1.病院の現状(運営・経営状況、施設・設備状況)
- 2.病院の問題点(運営・経営の問題点、施設・設備の問題点)
- 3.改築の必要性

第2回検討事項 (R5.7月予定)

第3章 新病院の規模・機能等

- 1.新病院の役割、新病院の規模・機能
- 2.新病院の診療体制
- 3.事業費概算額

第3回検討事項 (R5.10月予定)

1-1. 日南病院 新病院基本構想の構成(第1章の項目)

○はじめに

第1章 病院を取り巻く医療体制の概況

- 1.地域の概況
- 2.人口(人口の推移、人口構造、人口動態)
- 3.将来人口の予測
- 4.患者の受療動向
- 5.将来患者数の予測

本日の検討項目

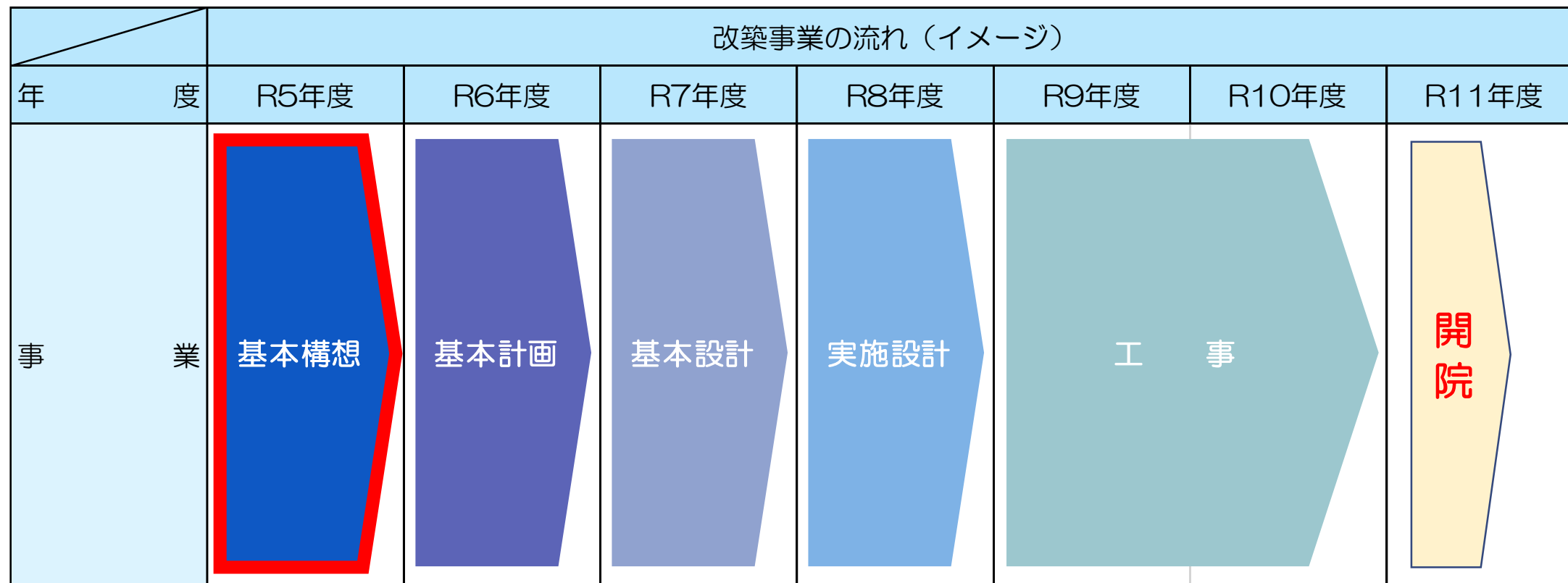
第2章 病院の現状と問題点

- 1.病院の現状(運営・経営状況、施設・設備状況)
- 2.病院の問題点(運営・経営の問題点、施設・設備の問題点)
- 3.改築の必要性

第3章 新病院の規模・機能等

- 1.新病院の役割、新病院の規模・機能
- 2.新病院の診療体制
- 3.事業費概算額

1-2. 日南病院 新病院改築事業の流れ(イメージ)



1-3. 国の医療政策の動向

2040年を展望した医療提供体制の改革について（イメージ）

- 医療提供体制の改革については2025年を目指した地域医療構想の実現等に取り組んでいるが、2025年以降も少子高齢化の進展が見込まれ、さらに人口減に伴う医療人材の不足、医療従事者の働き方改革といった新たな課題への対応も必要。
- 2040年の医療提供体制の展望を見据えた対応を整理し、地域医療構想の実現等だけでなく、医師・医療従事者の働き方改革の推進、実効性のある医師偏在対策の着実な推進が必要。



2040年を展望した2025年までに着手すべきこと

地域医療構想の実現等

- ①全ての公立・公的医療機関等における具体的対応方針の合意形成
- ②合意形成された具体的対応方針の検証と地域医療構想の実現に向けた更なる対策
- ③かかりつけ医が役割を発揮できるための医療情報ネットワークの構築や適切なオンライン診療等を推進するための適切なルール整備 等

三位一体で推進

医師・医療従事者の働き方改革の推進

- ①医師の労働時間管理の徹底
- ②医療機関内のマネジメント改革(管理者・医師の意識改革、業務の移管や共同化(タスク・シフティングやタスク・シェアリング)、ICT等の技術を活用した効率化 等)
- ③**医師偏在対策**による地域における医療従事者等の確保(地域偏在と診療科偏在の是正)
- ④地域医療提供体制における機能分化・連携、集約化・重点化の推進(これを推進するための医療情報の整理・共有化を含む)⇒**地域医療構想の実現**

実効性のある医師偏在対策の着実な推進

- ①地域医療構想や2040年の医療提供体制の展望と整合した**医師偏在対策**の施行
 - ・医師偏在指標に基づく医師確保計画の策定と必要な施策の推進
 - ・将来の医療ニーズに応じた地域枠の設定・拡充
 - ・地域ごとに異なる人口構成の変化等に対応した将来の診療科別必要医師数を都道府県ごとに算出
- ②総合的な診療能力を有する医師の確保等のプライマリ・ケアへの対応

1-4. 日南病院の概要

	概 要
名 称	日南町国民健康保険 日南病院
所 在 地	鳥取県日野郡日南町生山511-7
法 適 用	地方公営企業法全部適用（平成17年4月 病院事業管理者設置）
開 設 者	日南町長
診 療 科 目	内科、外科、小児科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、リハビリテーション科
病 床 数	99床（一般病床59床、療養病床40床〈医療型22床、介護型18床〉）
職 員 数	108名（事業管理者1名、医師7名、看護師48名、その他52名）
施 設 概 況	敷地面積：7,128.94㎡ 建物延床面積：6,705.92㎡（本館 5,231.90㎡、新館 1,474.02㎡）
主な施設基準等	救急告示病院、臨床研修協力施設、地域包括医療・ケア認定施設

1-5. 日南病院 院是

基本テーマ

地域住民の健康維持・増進を図り、地域の発展に貢献するとともに、地域住民、医療・保健・福祉の関係者、行政のトップと一体となって、生活自立障害を持った住民を総力を挙げて地域で支えることを使命とします。

基本方針

(1)地域医療の確保

日南病院は、住民のニーズに対応した適正な医療を地域に提供します。

(2)医療水準の向上

日南病院は、先駆的な地域医療を行い、地域の医療水準の向上に努めます。

(3)患者様中心の医療の確立

日南病院は、患者様と医療スタッフがよく話し合い、患者様が最良の医療を受けられることを目指します。

(4)安全管理の徹底

日南病院は、安心して医療を受けられる環境を整備し、職員への安全教育を推進します。

(5)健全経営の確保

日南病院は、公共性を確保するとともに、健全で自立した経営基盤を確立します。

町は大きなホスピタル



1-6-1. 日南病院の位置



- ・鳥取県の端、広島・岡山・島根に県境を接する、中国山地の真ん中、山間地域
- ・広域バス路線は早い時期に廃止、JR伯備線が唯一の広域公共交通機関
- ・町面積は340㎢と県土面積の約1割
- ・町内公共交通は町営バスと民間タクシー会社1社

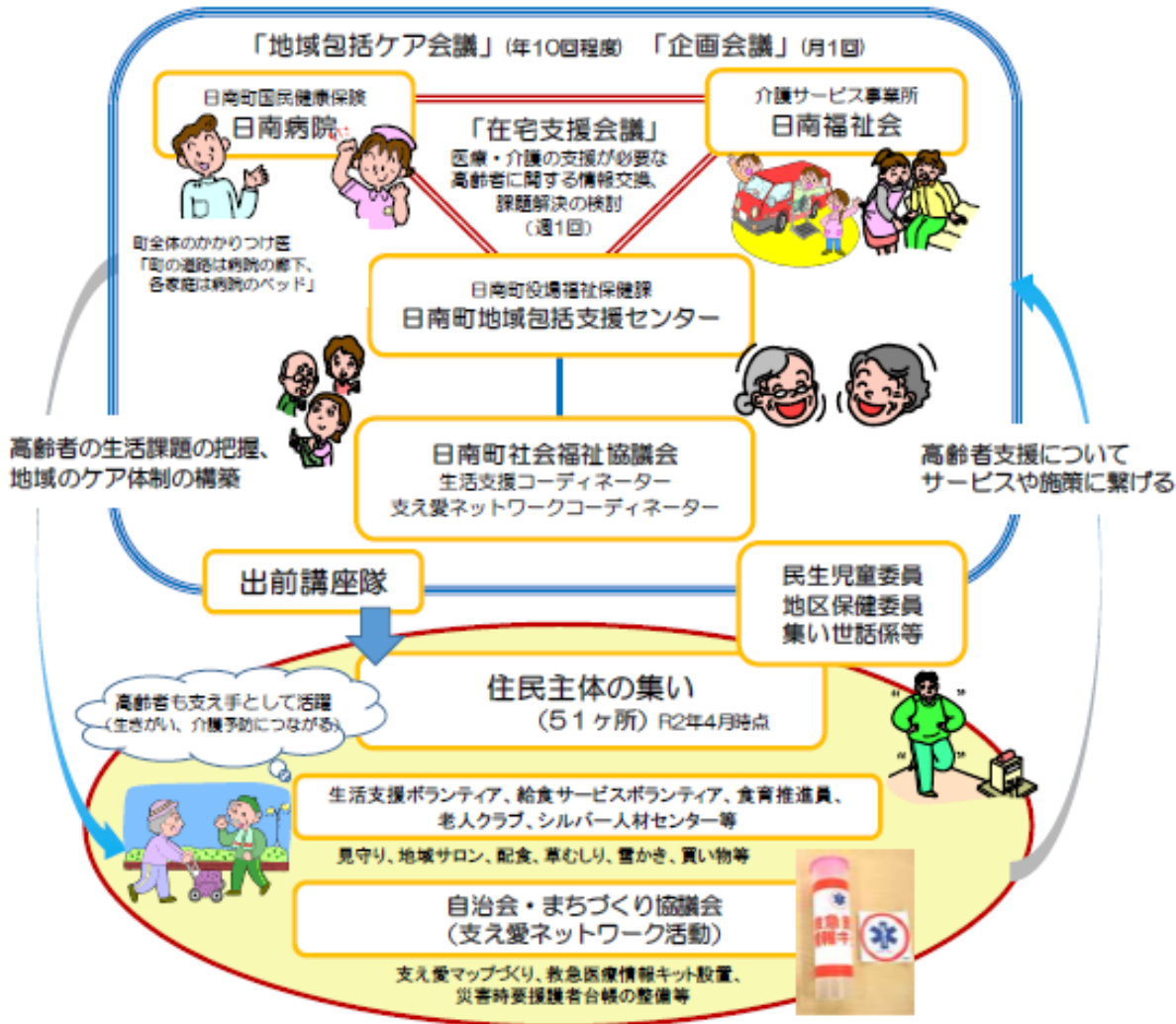
※その中で町内唯一の医療機関
(歯科診療所も1か所)

1-7. 日南病院の主な沿革

1962	昭和37年4月	日南町国民健康保険 日南病院開設
		一般27床 診療科：内科、外科、産婦人科
1973	昭和48年10月	本館改築 一般50床 診療科追加：歯科
1988	昭和63年 3月	現在地で竣工 一般80床
		リハビリ業務開始
1992	平成 4年 5月	自治体立優良病院 自治大臣表彰
1997	平成 9年12月	増改築工事 リハビリ室、詰所、事務所他
2000	平成12年2月	療養棟新館竣工 一般50床 療養49床 計99床
2001	平成13年2月	病床種別変更 一般59床 療養40床（医療療養9床 介護療養31床）
	5月	ドクターカー開始 平成22年2月まで継続
	5月	自治体立優良病院 総務大臣表彰
2002	平成16年9月	救急医療 厚生労働大臣表彰
2003	平成17年4月	地方公営企業法全部適用
		岡山県新見市新郷高瀬診療所へ医師派遣 平成20年1月まで継続
2004	平成18年3月	本館増改築工事竣工
2014	平成26年9月	地域包括ケア病床の運用開始 13床（一般） 令和5年5月 19床（一般）
2022	令和 4年10月	在宅療養支援病院 施設基準届出
2023	令和 5年	病床数内訳変更 一般59床 療養40床（医療療養22床 介護療養18床）

1-8. 日南町 地域包括ケアシステム

日南町 地域包括ケアシステム (イメージ図)



日南町では、昭和59年に「訪問連絡会」を立ち上げ、日南病院では訪問看護を開始した。この訪問連絡会は、現在「**地域包括ケア会議**」に移行し、高齢者支援に関わる関係機関との連携を進め、具体的な課題解決の取り組みを行い、年10回会議を開催している。このほかに認知症初期段階からの施策の検討を行う「**認知症作業部会**」も年12回会議を開催している。

平成8年からは「**在宅支援会議**」を週1回、年51回開催し要支援高齢者の情報共有を行い、課題の検討し支援を行っている。

平成22年からは「**地域包括ケア会議企画会議**」を日南病院、日南福祉会、日南町社会福祉協議会、地域包括支援センターの4団体で月1回開催し、地域包括ケア会議の課題や介護保険事業計画への提案等を行っている。

日南町では、保健・医療・介護・福祉が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を従来から積極的な取り組み行っている。

1-9-1. 日南町の医療・介護施設及び介護サービス

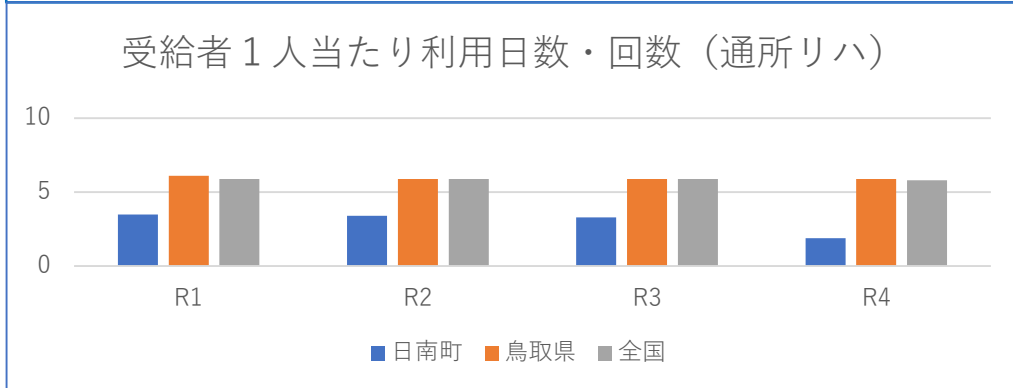
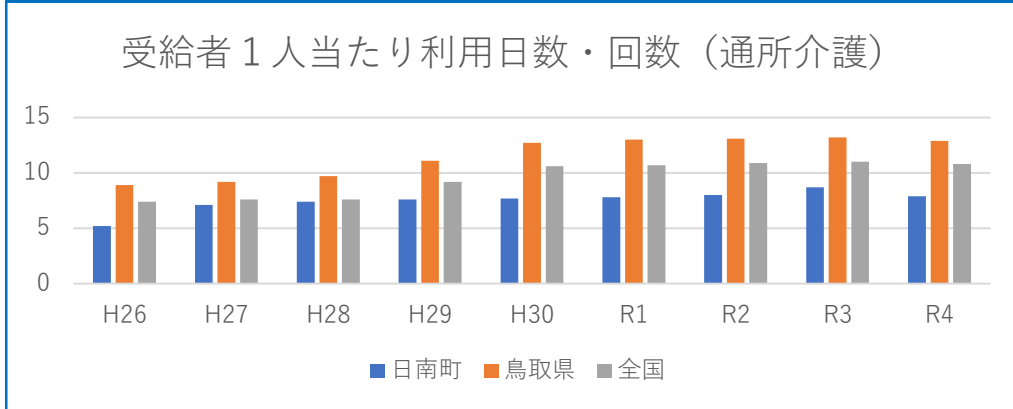
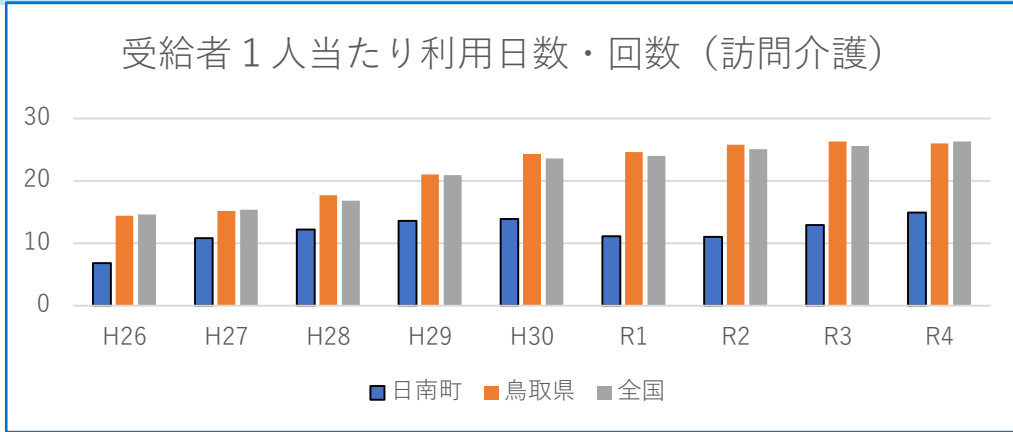
日南町内の介護職員不足により介護サービス事業の縮小または休止が行われている。
また、交通の便が悪く高齢者が多い過疎地域のため、降雪期間は高齢者が冬季入所の施設利用がある。

医療・介護施設			介護サービス事業
日南病院	一般病床・地域包括ケア病床	59	訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリ、居宅介護支援事業所、訪問型サービスC、通所型サービスC
	療養病床	40	短期入所療養介護
あかねの郷	特別養護老人ホーム	90	デイサービス、特化型デイサービス、居宅介護支援事業所、ホームヘルパー、短期入所生活介護
あかね荘	有料老人ホーム	19	
月空星	有料老人ホーム	9	
あさひの郷	認知症グループホーム	18	短期入所生活介護
入沢歯科医院	歯科診療所		

冬季入所利用の実績

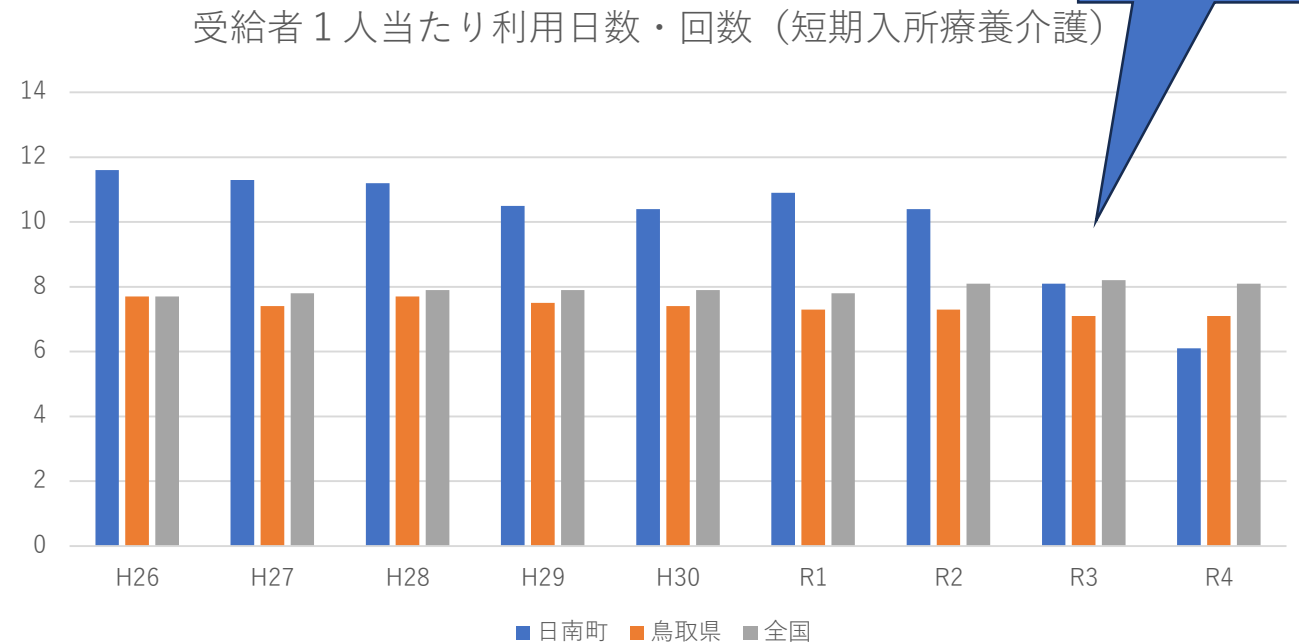
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
日南病院	19	15	16	22	15	13	14	11	5
その他	15	16	16	14	14	10	21	31	40
合計	34	31	32	36	29	23	35	42	45

1-9-2. 日南町の医療・介護施設及び介護サービス



介護サービス提供量の不足を、短期入所療養介護で補っている。

- ・短期集中の生活リハビリ
- ・健康管理の把握
- ・家族のレスパイト



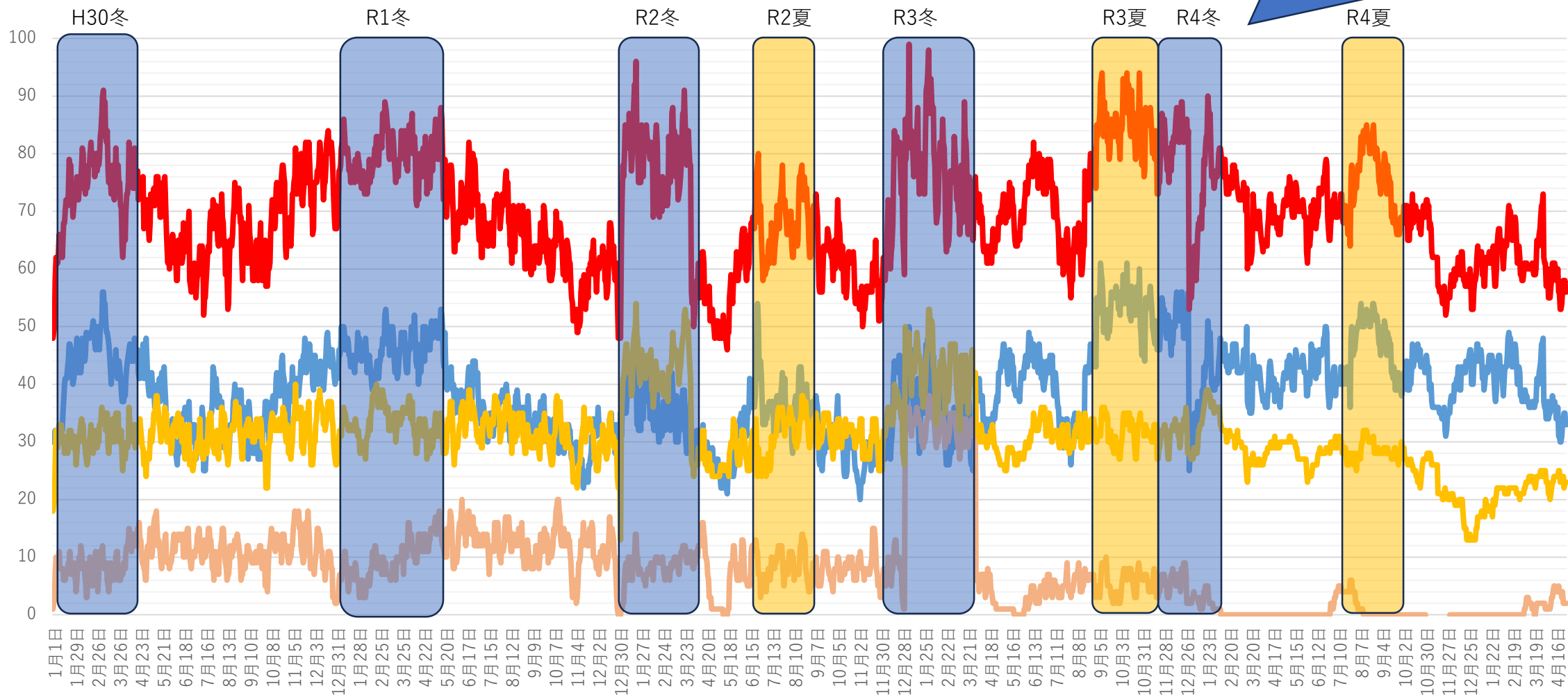
新型コロナウイルス感染症拡大。コロナ病床への看護師配置により、入院入所制限。

1-9-3. 季節と病床稼働率の関係

冬の稼働増に加え、夏の稼働も増えてきた。

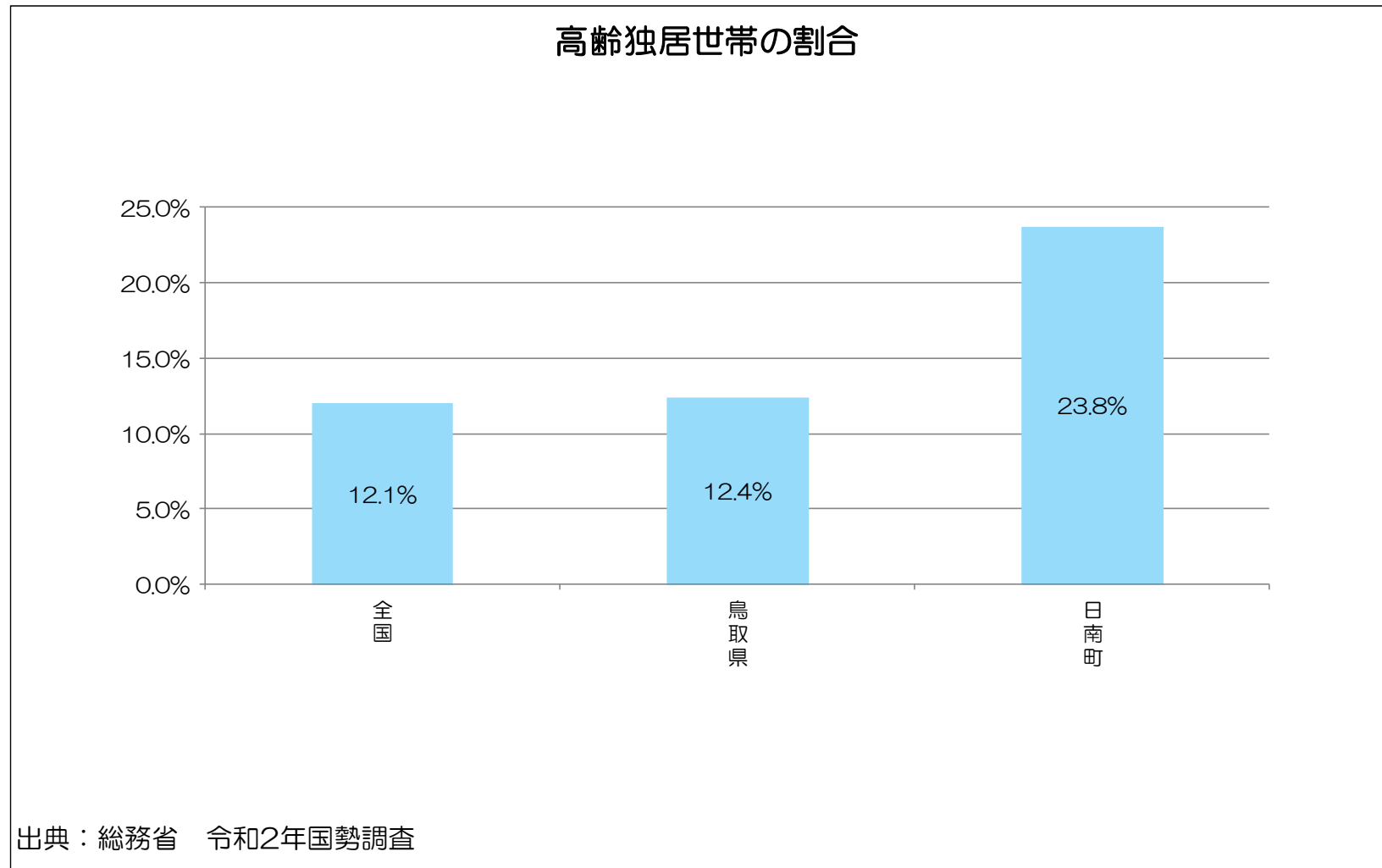
一般合計 ショート 療養合計 総合計

新型コロナウイルス感染症拡大。コロナ病床への看護師配置により、入院入所制限。



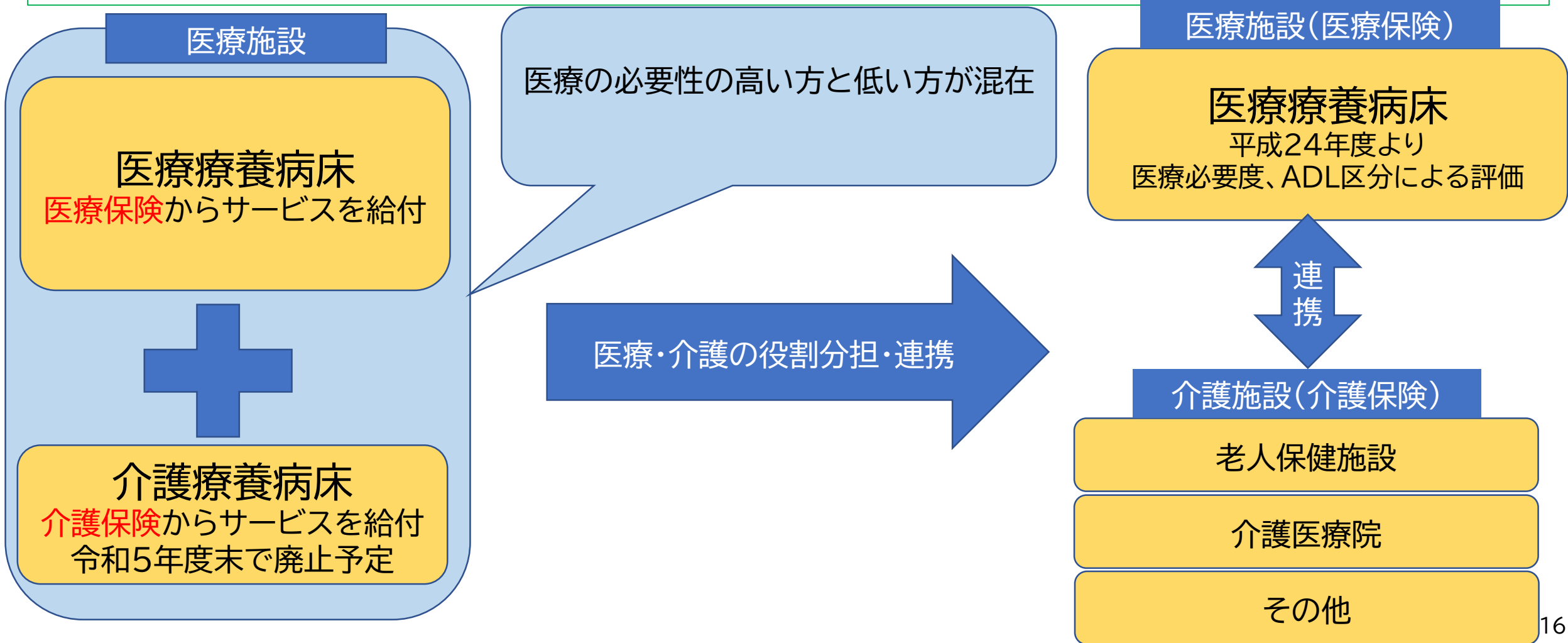
1-10. 高齢独居世帯の割合の比較

全国・鳥取県と比べ、日南町の独居世帯割合が高くなっている。



1-11. 介護療養病床の廃止について

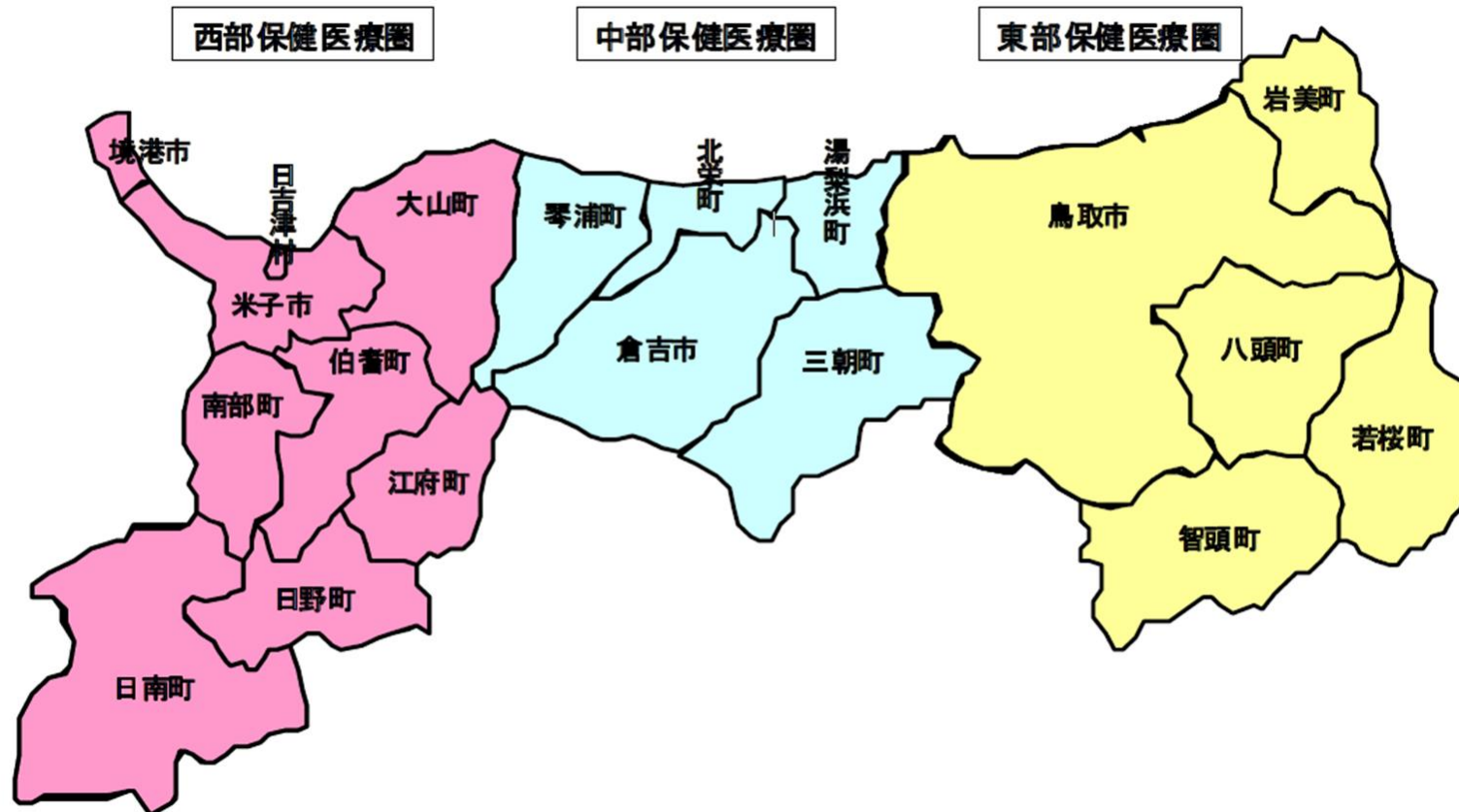
平成18年の医療保険制度改革において、医療費適正化の議論を受け、患者の状態に応じた療養病床の再編成が行われ、令和5年度末を以て介護療養病床の廃止が決定している。日南病院においては令和6年度以降、療養病床すべてを医療療養病床として運用する方針を決定している。



1-12. 鳥取県保健医療計画(二次保健医療圏)

各都道府県では、医療法に基づき、6年ごとに『保健医療計画』を策定している。救急医療を含む一般的な入院治療が完結する圏域として、二次保健医療圏がある。

鳥取県には3つの二次保健医療圏があり、当院の所在する日南町は、西部保健医療圏に含まれる。



出典:鳥取県 第7次保健医療計画

1-13. 鳥取県保健医療計画(医療圏と基準病床数)

各保健医療圏には、基準となる全体の病床数(基準病床数)が設定されているが、西部保健医療圏内における既存の病床数(既存病床数)は、平成30(2018)年4月時点で128床の過剰病床となっている。

二次保健医療圏名	圏域構成市町名	面積 (km ²)	人口 (人)	基準病床数 (①)	既存病床数 (②)	過不足病床数 (②-①)
東部保健医療圏	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町 (1市4町)	1,518.2	224,492	2,338	2,498	+160
中部保健医療圏	倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町 (1市4町)	780.4	99,193	968	1,263	+295
西部保健医療圏	米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、 伯耆町、日南町、日野町、江府町 (2市6町1村)	1,208.5	229,722	2,629	2,757	+128
合計	(4市14町1村)	3,507.1	553,407	5,935	6,518	+583

出典:鳥取県 第7次保健医療計画、国勢調査(令和2年)、国土地理院全国都道府県市区町村別面積調(令和5年1月)

1-14. 鳥取県保健医療計画(西部保健医療圏内の主な医療機関)

医療機関	許可病床数				医療機能(5疾病)					医療機能(5事業)				
	総数	一般	療養	精神	がん	脳卒中 ※急性期	心血管 疾患	糖尿病 ※急性増悪 ※専門治療	精神疾患 ※救急	救急	小児	周産期	災害	へき地
鳥取大学医学部 付属病院	697	697			●	●	●	●	●	● ※救命救急	●	●	● ※災害拠点	●
米子医療 センター	270	270			●		●	●		●	●			
山陰労災病院	377	377			●	●	●	●		●	●	●		●
博愛病院	199	161	38		●	●	●	●		●				
養和病院	290		60	230			●	●	●					
高島病院	143	60	83					●		●				
米子病院	270			270					●					
鳥取県済生会 境港総合病院	195	165	30	※その他 感染症2床		●	●	●		●				
元町病院	76	26	50					●						
大山リハビリ テーション病院	119	30	30	59					●					
南部町国民健康保険 西伯病院	198	49	50	99		●	●	●	●	●				
日野病院組合 日野病院	99	99				●	●	●		●				●
日南町国民健康保険 日南病院	99	59	40			●		●		●				●

出典:鳥取県 第7次保健医療計画、病院ホームページ 他

1-15. 鳥取県地域医療構想(病床機能報告と医療機能区分)

『地域医療構想』は、医療計画上の二次保健医療圏を基本として、将来推計人口を基に令和7(2025)年に必要とされる医療需要と必要病床数を医療機能ごとに推計している。

医療機能は、高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4つの機能に区分している。

医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
急性期機能	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期機能	急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能(回復期リハビリテーション機能)
慢性期機能	長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 長期にわたり療養が必要な重度の障害者(重度の意識障害者を含む)、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

出典：厚生労働省

1-16. 鳥取県地域医療構想(2025年の必要病床数)

病床機能報告の許可病床数と地域医療構想の必要病床数を比較すると、鳥取県全体では回復期が865床不足、当院の所在する西部構想区域では回復期が541床不足となっている。

(単位：床)

区分	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
鳥取県	A.令和3(2021)年病床数	878	2,964	1,272	1,645	6,759
	B.令和7(2025)年必要病床数	583	2,019	2,137	1,157	5,896
	A-B	295	945	▲ 865	488	863
西部構想区域	A.令和3(2021)年病床数	661	1,190	448	647	2,946
	B.令和7(2025)年必要病床数	282	877	989	347	2,495
	A-B	379	313	▲ 541	300	451

出典：Aは病床機能報告（令和3年）、Bは鳥取県地域医療構想（平成28年 12月）

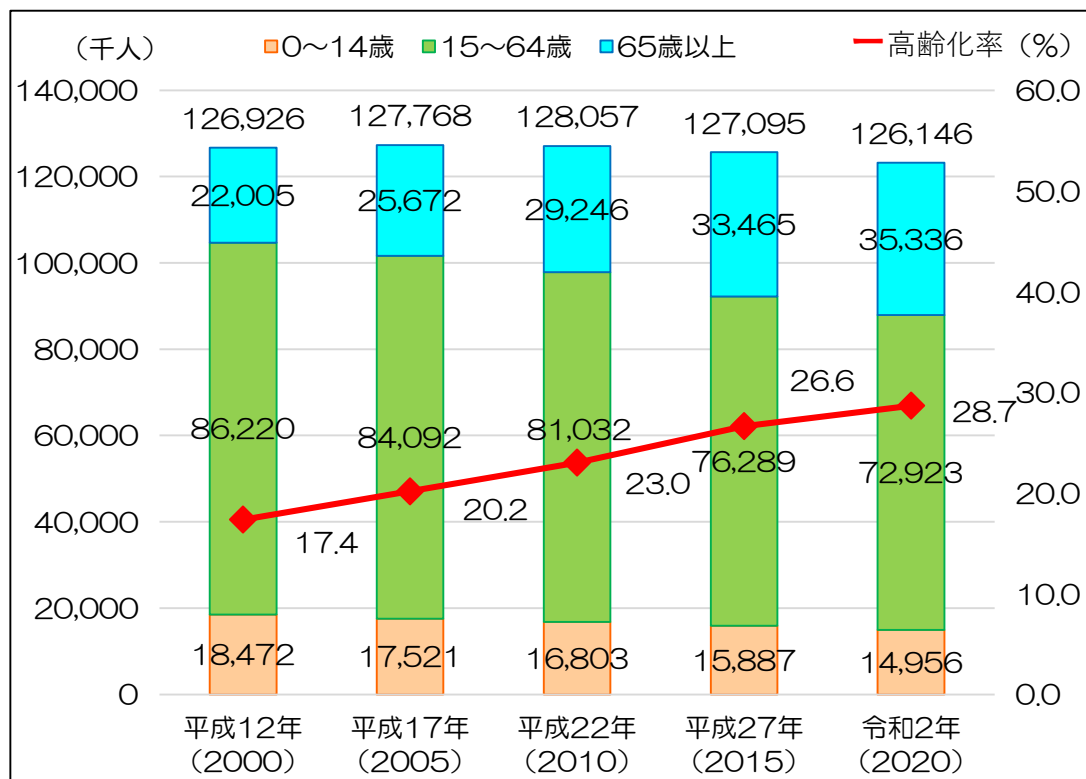
注：Aの病床数は休床中を除く

1-17. 人口の推移(全国・日南町)

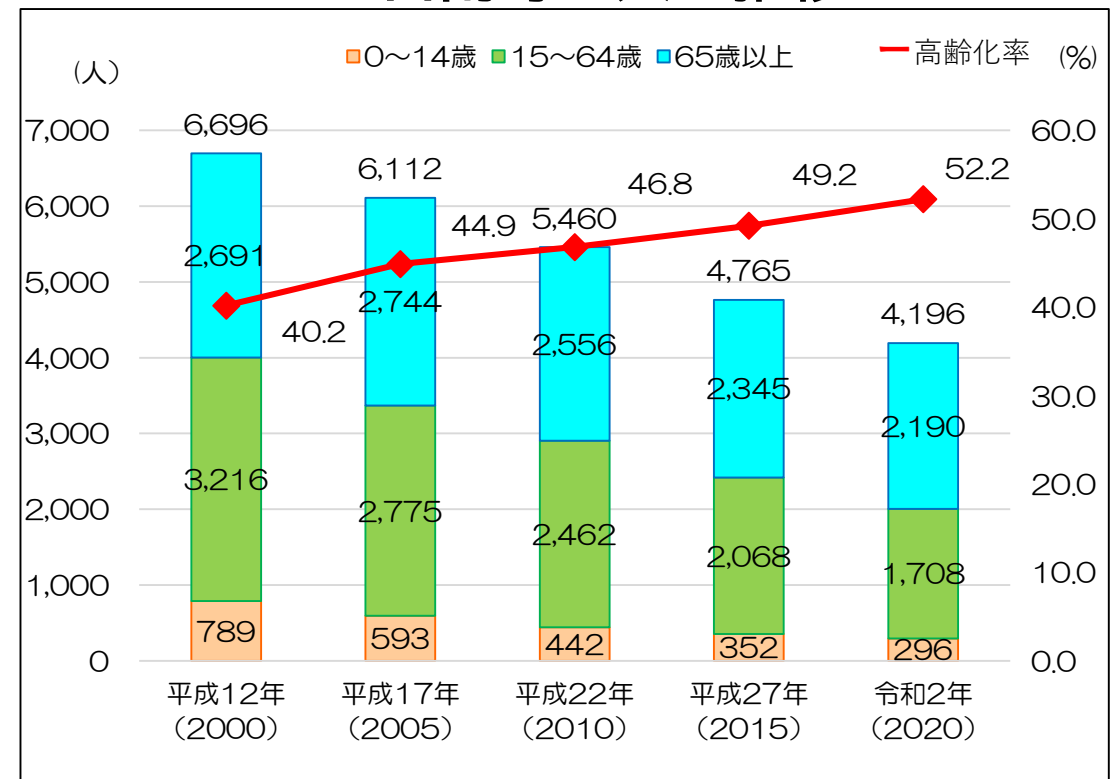
全国では、平成12(2000)年から平成22(2010)年まで人口が増加している。平成22(2010)年から令和2(2020)年にかけては減少に転じている。20年間で見ると、780千人(0.6%)減少している。

日南町では、平成12(2000)年から令和2(2020)年まで減少傾向にある。20年間で2500人(37.3%)減少している。高齢化率は50%を超過した。

全国の人口推移



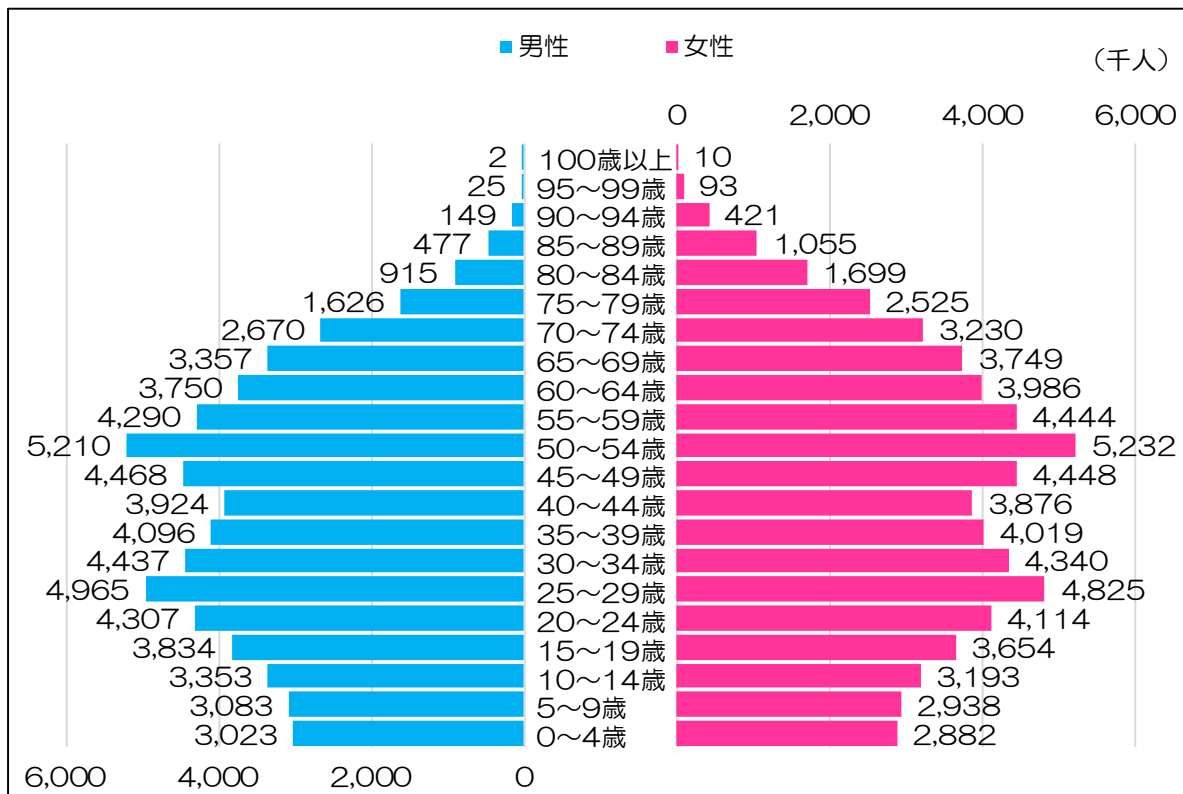
日南町の人口推移



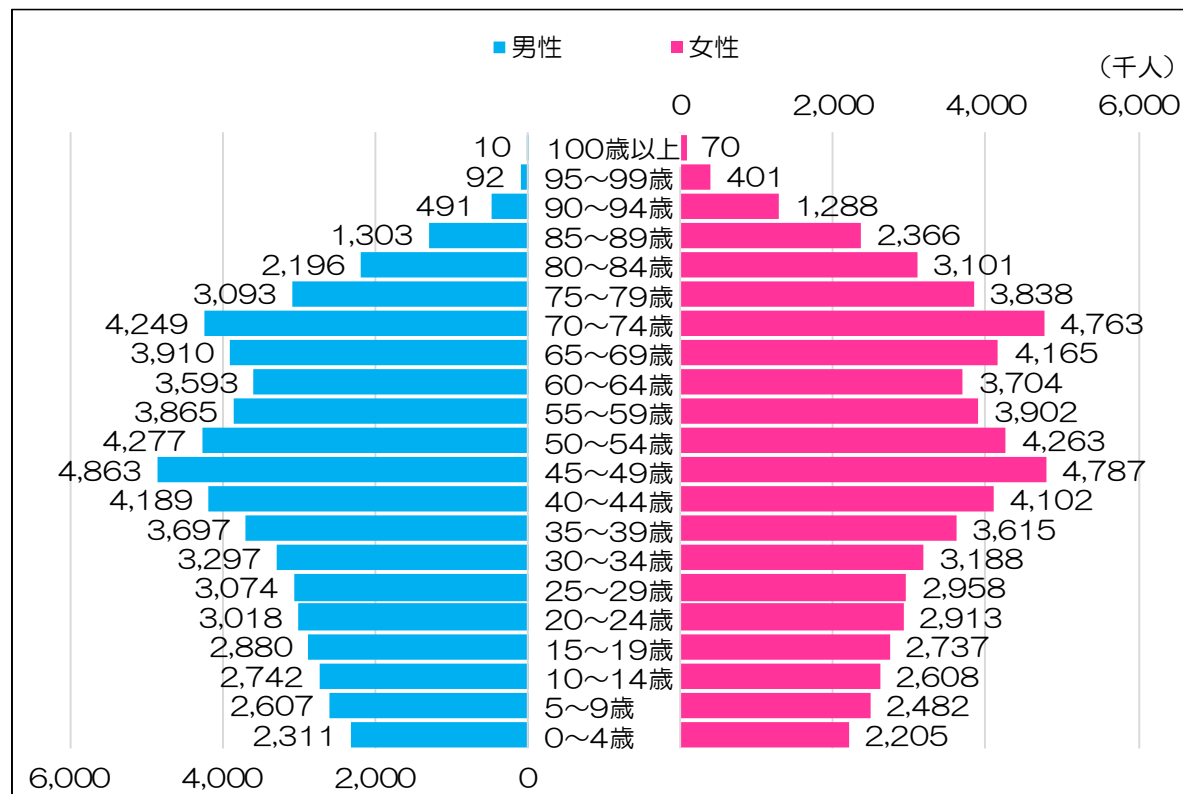
1-18. 人口ピラミッド①(全国)

全国の平成12(2000)年と令和2(2020)年の人口ピラミッドを比較すると、前者では生産年齢人口は多いものの、年少人口の減少が始まっており、いわゆる「釣り鐘型」が崩れた状態となっている。後者では少子化とともに高齢化が進み、いわゆる「壺型」へと変化している。

平成12(2000)年の年齢別人口



令和2(2020)年の年齢別人口

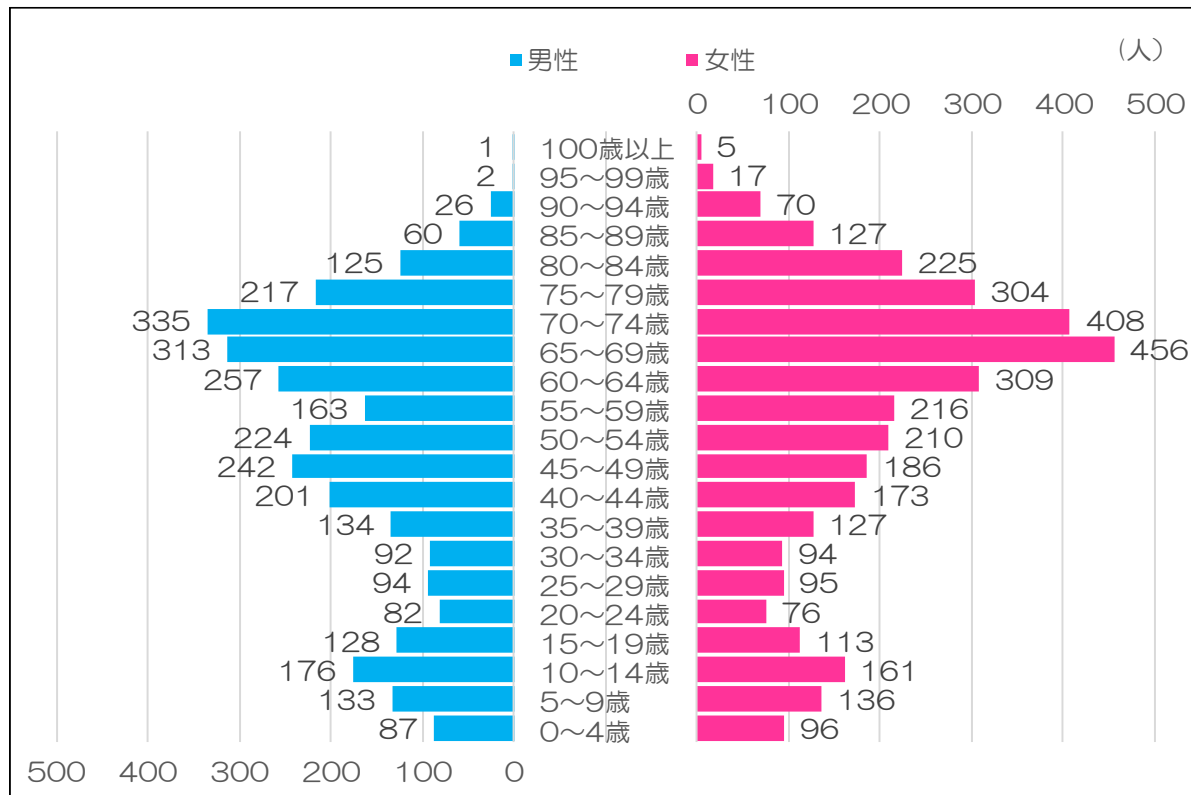


出典：総務省統計局 統計ダッシュボードより作成

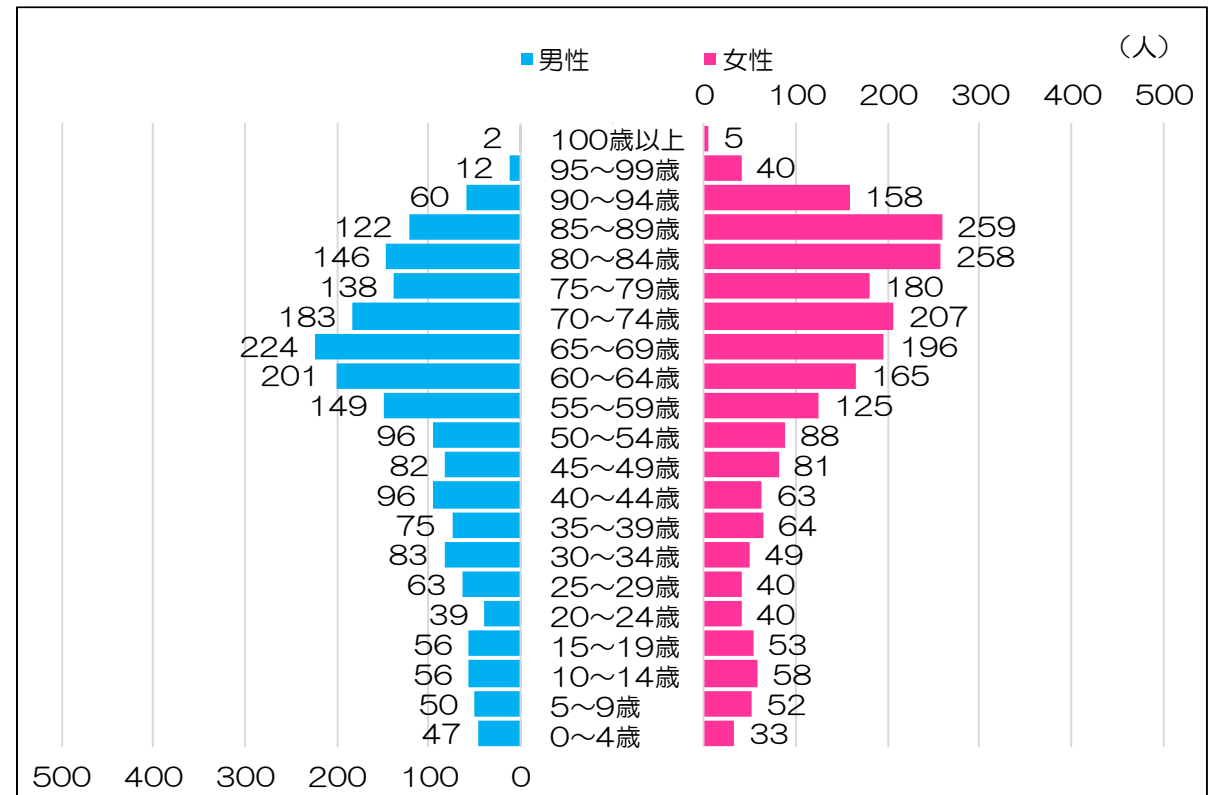
1-19. 人口ピラミッド①(日南町)

日南町の平成12(2000)年と令和2(2020)年の人口ピラミッドを比較すると、前者ではすでに少子高齢化の進んだ「壺型」となっており、後者では更に人口減少が進み、やせた「壺型」へと変化している。

平成12(2000)年の年齢別人口



令和2(2020)年の年齢別人口

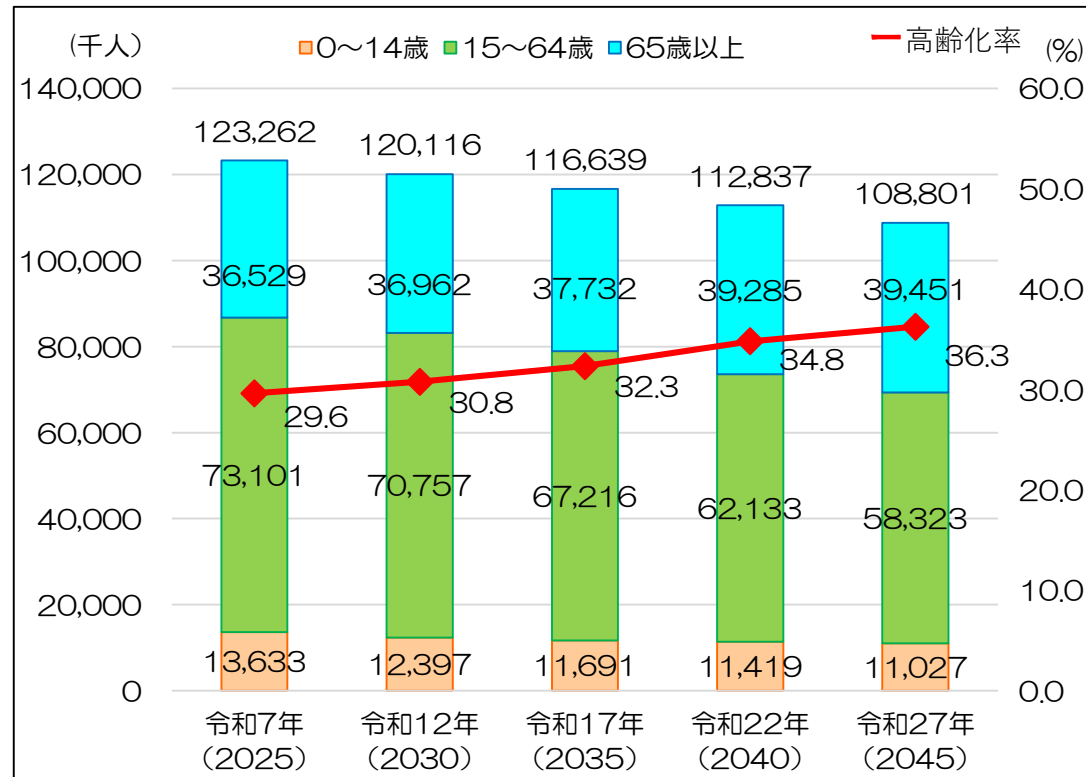


出典：総務省統計局 統計ダッシュボードより作成

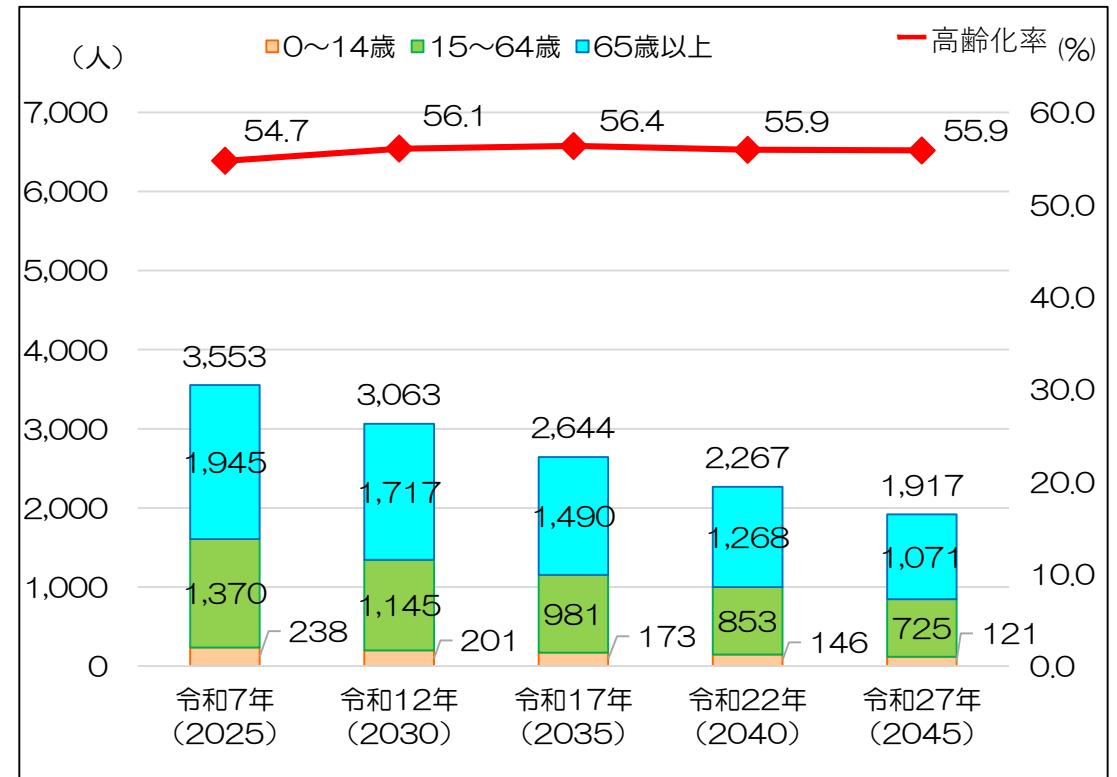
1-20. 将来人口推計(全国・日南町)

全国では、令和7(2025)年の人口123,262千人から令和27(2045)年の人口108,801千人と、20年間で14,461千人(11.7%)減少することが推計される。高齢化率も徐々に上昇する見込み。
 日南町では、令和7(2025)年の人口3,553人から令和27(2045)年の人口1,917人と、20年間で1,636人(46.0%)減少することが推計される。高齢化率は横ばいの状況。

全国の将来人口推計



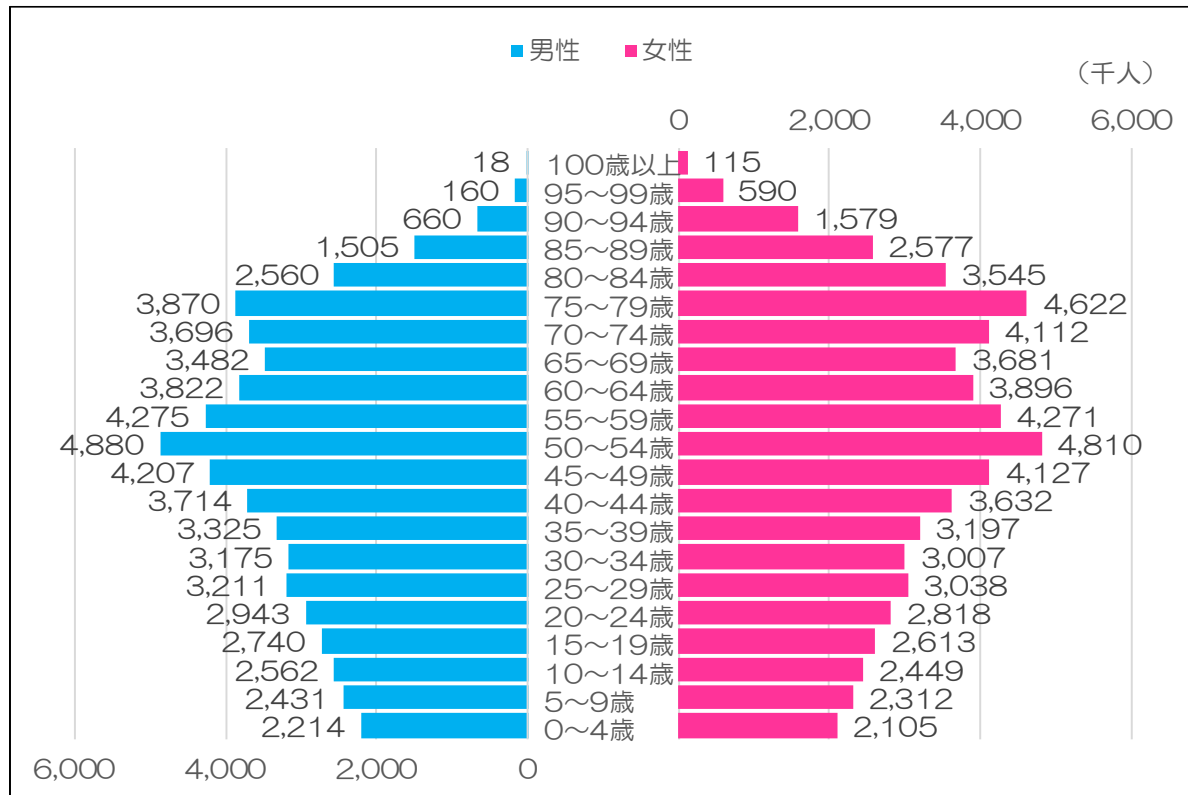
日南町の将来人口推計



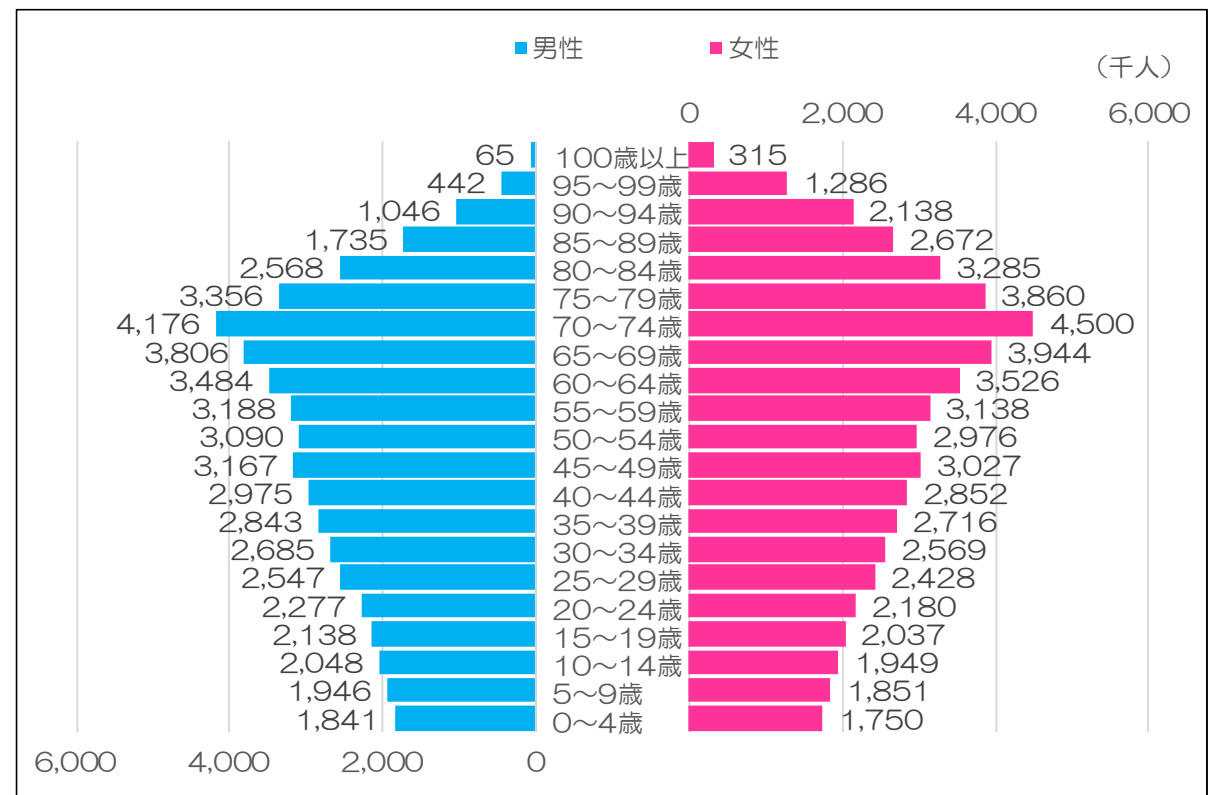
1-21. 人口ピラミッド②(全国)

全国の令和7(2025)年と令和27(2045)年の人口ピラミッドを比較すると、後者では年少人口に加え生産年齢人口も減少し、底の部分が徐々に細くなる「壺型」へと変化している。

令和7(2025)年の年齢別人口



令和27(2045)年の年齢別人口

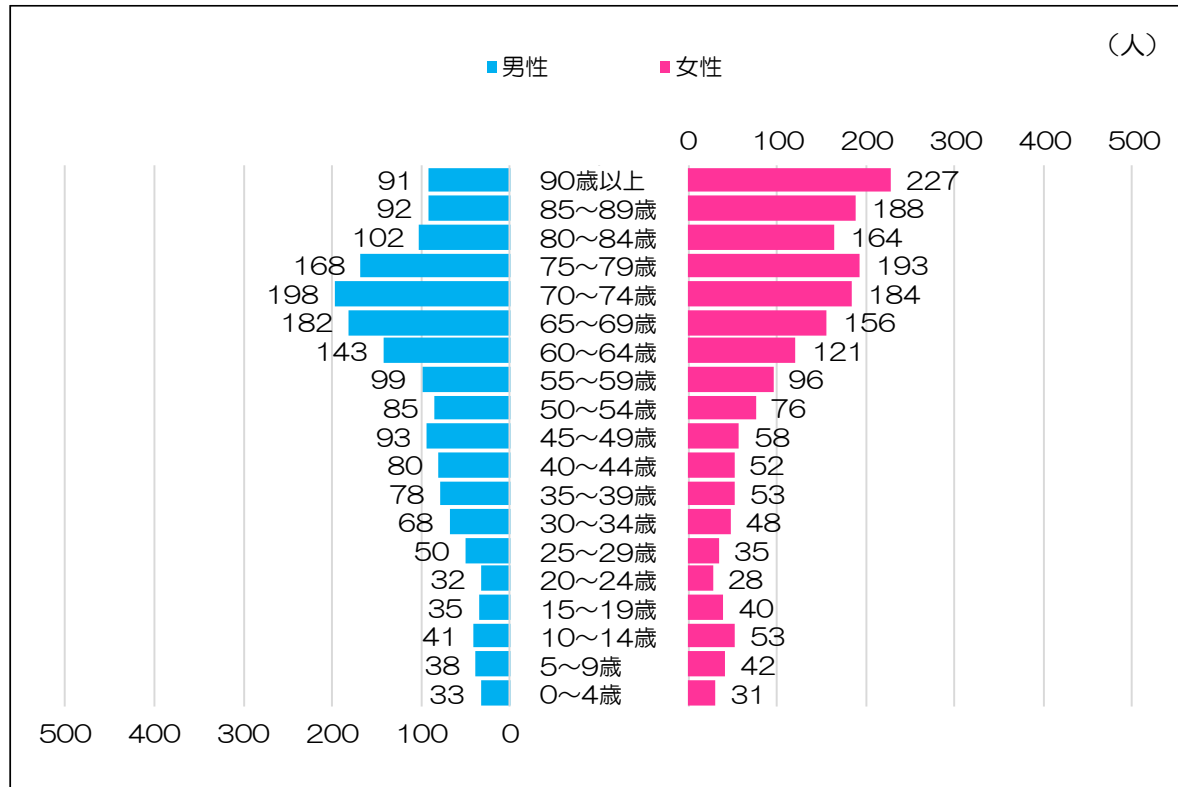


出典：総務省統計局 統計ダッシュボードより作成

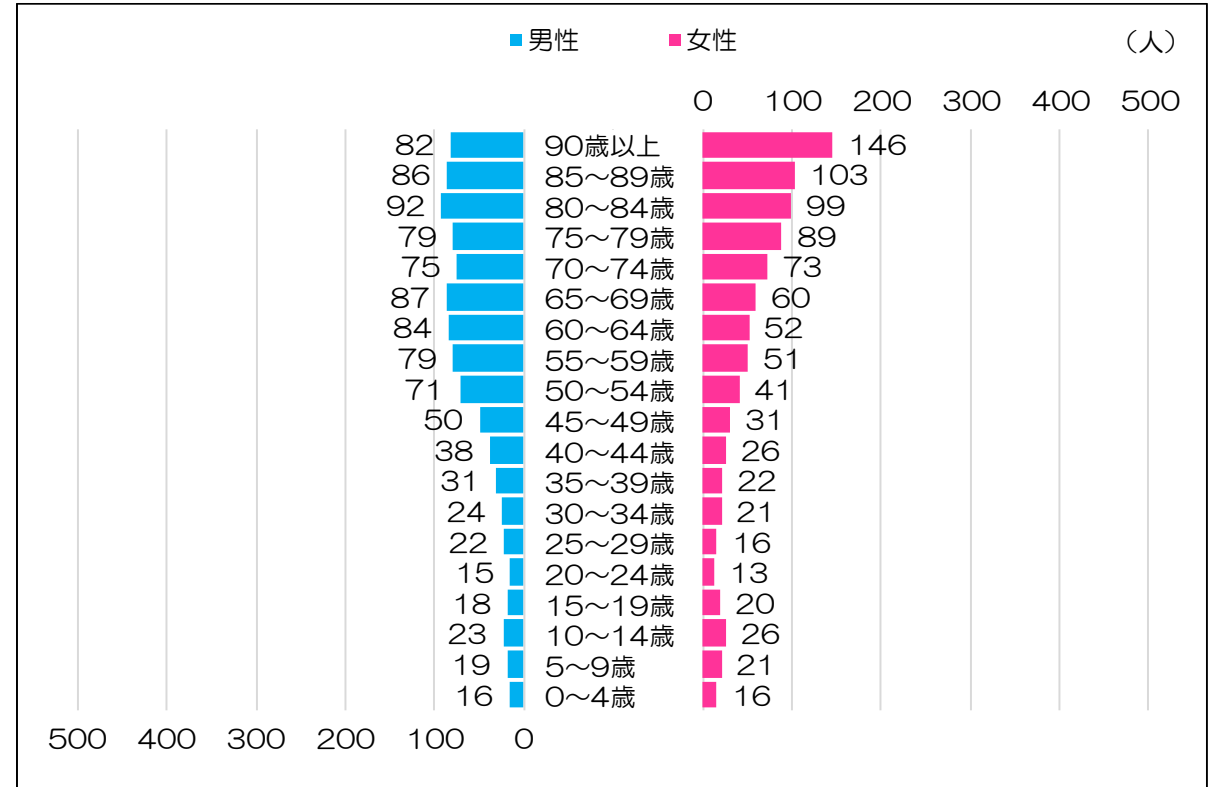
1-22. 人口ピラミッド②(日南町)

日南町の令和7(2000)年と令和27(2045)年の人口ピラミッドを比較すると、後者ではやせた「壺型」からすべての世代で人口減少が進み、はっきりとした型はなくなりつつある。

令和7(2025)年の年齢別人口



令和27(2045)年の年齢別人口



出典：総務省統計局 統計ダッシュボードより作成

1-23. 年齢階級別入院受療率(全国・鳥取県)

年齢階級別入院受療率を全国・鳥取県で見ると、いずれも0～4歳を除き、年齢階級が上がるほど受療率が高くなっている。全国と比較すると、鳥取県は0～4歳、5～14歳、15～24歳、85歳以上で受療率が低くなっているが、総数で見ると全国よりも受療率が高くなっている。

(人口10万人対)

年齢階級別		入・外別	全 国	鳥 取 県
入 院	総 数		960	1,126
	0～4歳		306	178
	5～14歳		86	84
	15～24歳		133	105
	25～34歳		223	286
	35～44歳		266	335
	45～54歳		407	443
	55～64歳		776	822
	65～74歳		1,385	1,452
	75～84歳		2,650	2,878
	85歳以上		5,433	5,382
	65歳以上(再掲)		2,512	2,709
	70歳以上(再掲)		2,899	3,150
	75歳以上(再掲)		3,568	3,864

出典：令和2(2020)年患者調査

1-24. 年齢階級別外来受療率(全国・鳥取県)

年齢階級別外来受療率を全国・鳥取県で見ると、いずれも0～4歳、5～14歳を除き、年齢階級が上がるほど受療率が高くなっている。全国と比較すると鳥取県は、25～34歳、75～84歳を除き受療率が低くなっているが、総数で見ると全国の受療率との差は49ポイントと差が少ない。

(人口10万人対)

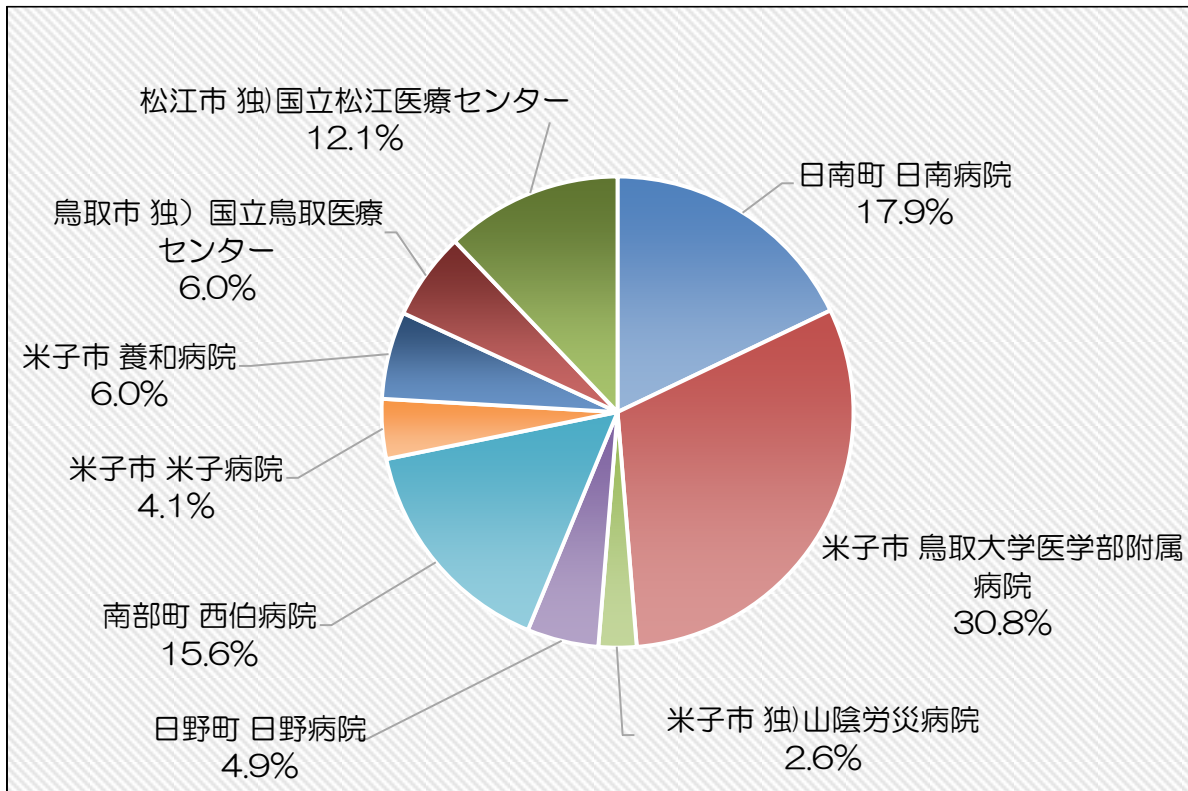
年齢階級別		入・外別	全 国	鳥 取 県
外 来	総 数		5,658	5,609
	0～4歳		6,505	4,961
	5～14歳		4,046	3,160
	15～24歳		2,253	2,062
	25～34歳		2,872	3,003
	35～44歳		3,336	3,332
	45～54歳		3,999	3,788
	55～64歳		5,596	5,147
	65～74歳		8,847	8,491
	75～84歳		11,665	11,707
	85歳以上		10,151	8,733
	65歳以上(再掲)		10,044	9,557
	70歳以上(再掲)		10,665	10,206
	75歳以上(再掲)		11,166	10,536

出典：令和2(2020)年患者調査

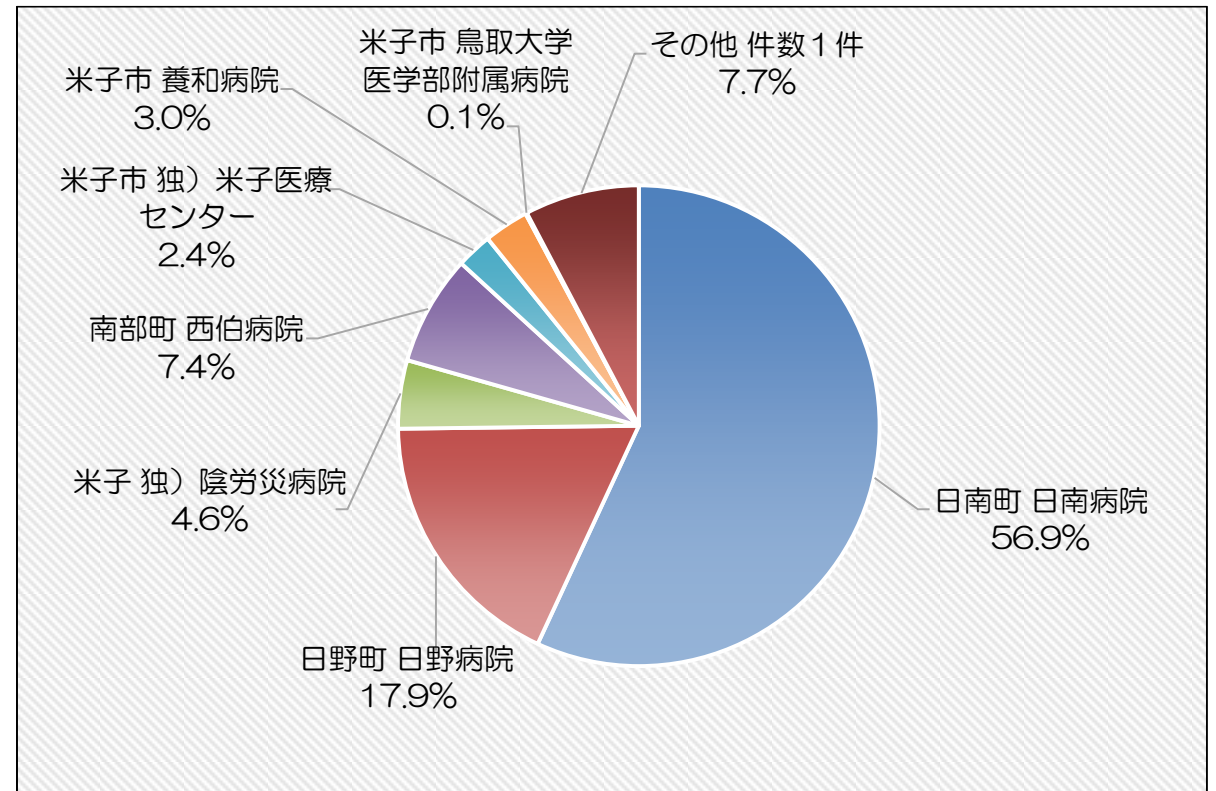
1-25. 日南町内の受療動向(入院)

令和5年1月分の日南町の入院受療動向を構成割合で見ると、国保被保険者の17.9%が当院を受療しているが、近隣医療機関では、日野郡内の日野病院へ4.9%、西伯郡の西伯病院へ15.6%が受療している。また、後期高齢者の場合、56.9%が当院を受療しているが、日野病院へ17.9%、西伯病院へ7.4%が受療している。

医療施設利用状況(国保被保険者)



医療施設利用状況(後期高齢者)

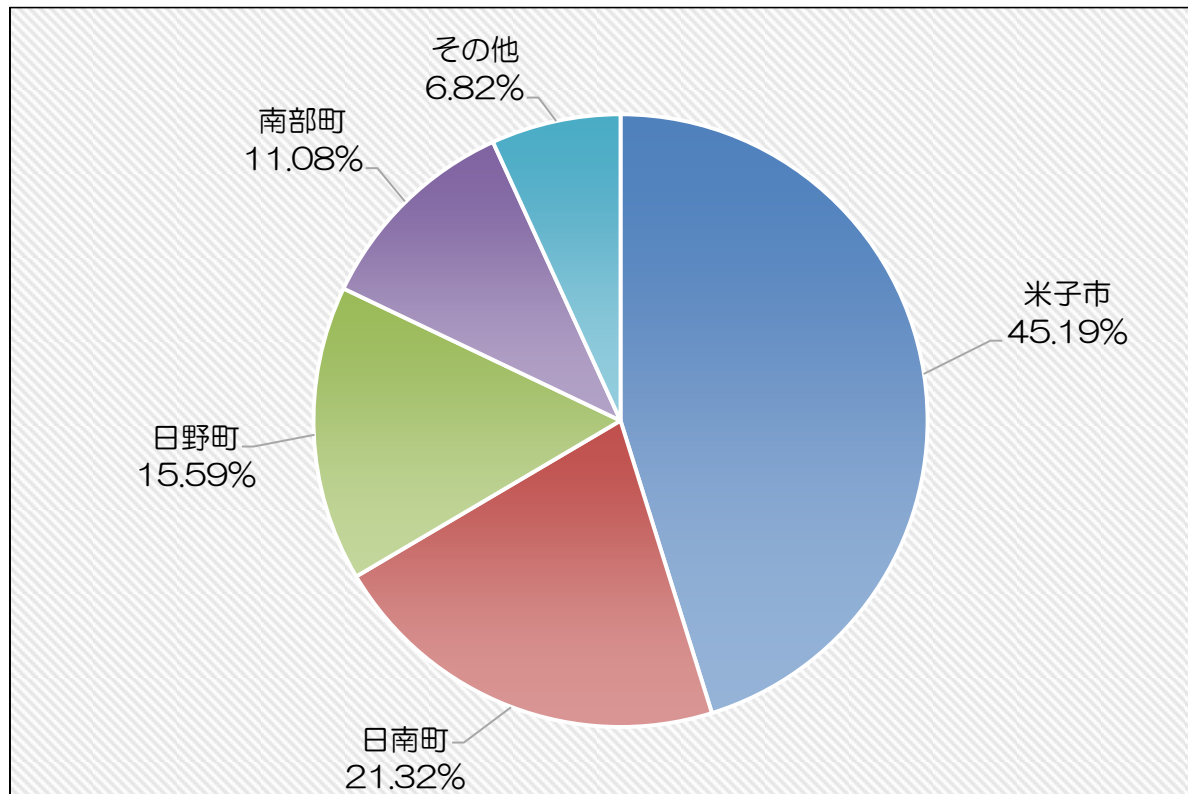


引用：令和5年1月分の国保被保険者・後期高齢者の医療施設利用状況

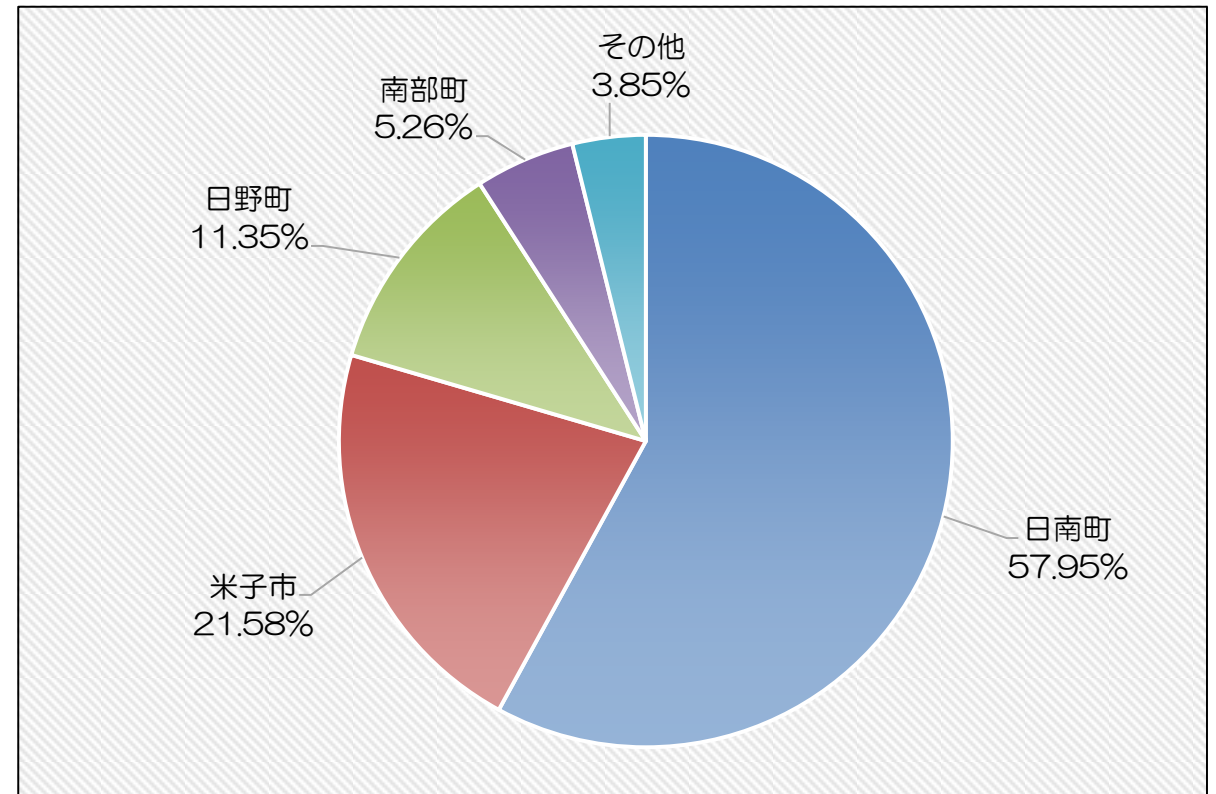
1-26. 日南町内の受療動向(外来)

令和5年1月分の日南町の外来受療動向を構成割合で見ると、国保被保険者の21.3%が当院を受療しているが、近隣医療機関では、日野郡内の日野病院へ15.6%、西伯郡の西伯病院へ5.2%が受療している。また、後期高齢者の場合、58.0%が当院を受療しているが、日野病院へ11.4%、西伯病院2.5%が受療している。

医療施設利用状況(国保被保険者)



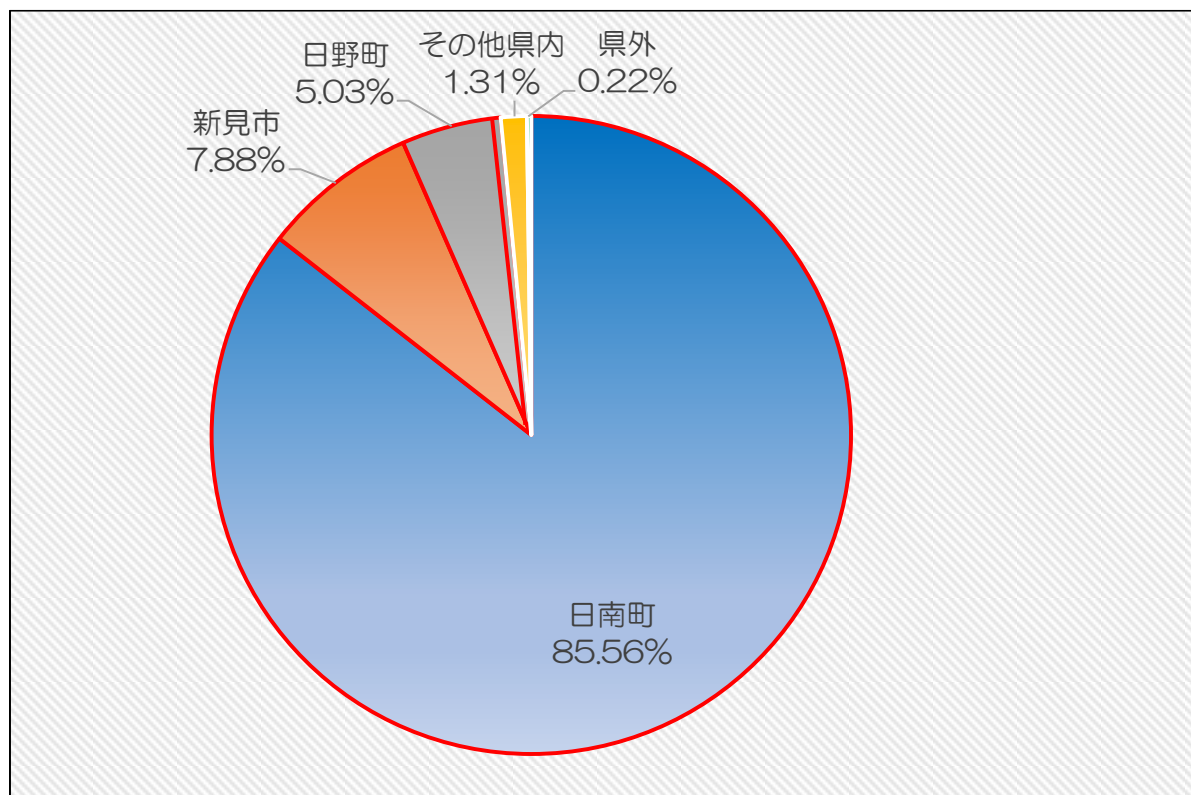
医療施設利用状況(後期高齢者)



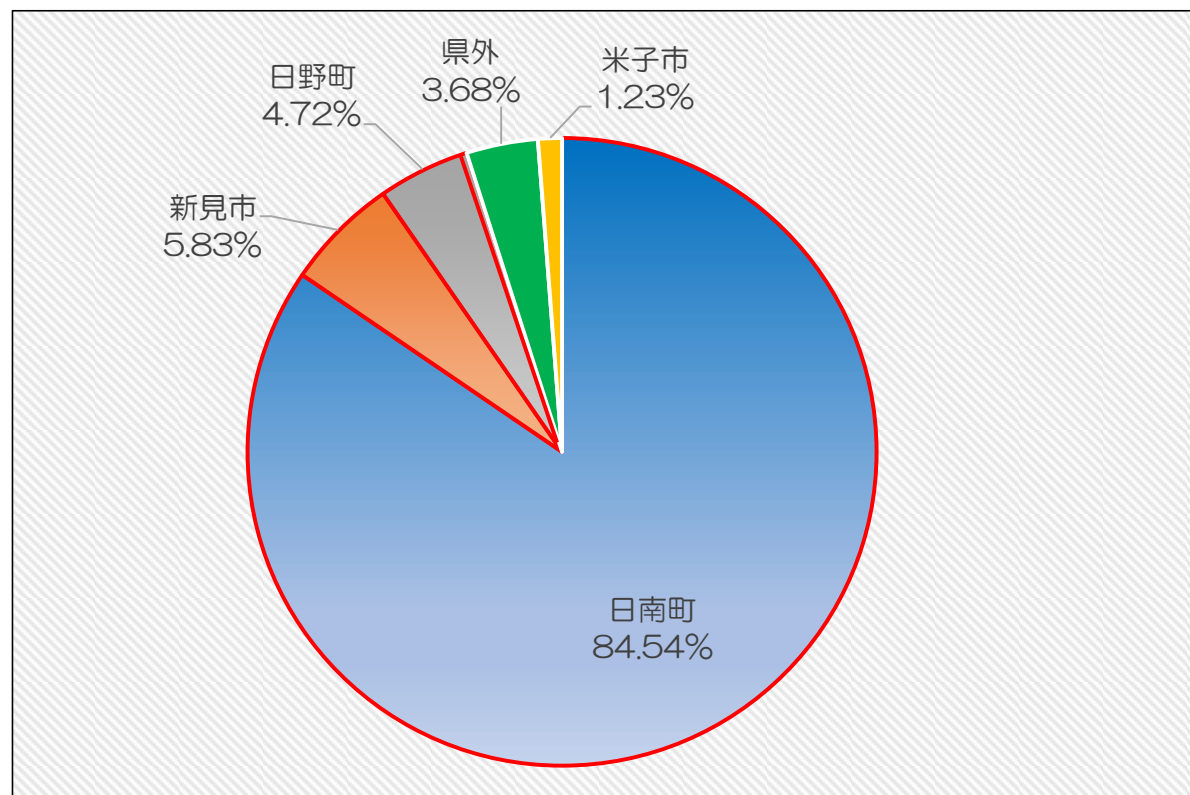
1-27. 診療圏の設定

令和4年度の当院への来院患者の割合を入院・外来別に見ると、当院の所在する「日南町」(令和2年人口:4,196人)を中心に「新見市(旧神郷町)」(令和2年人口:1,631人)・「日野町黒坂地区」(令和2年人口:869人)からの患者数が95%以上(入院:98.47%、外来:95.09%)を占めることから、3地域を診療圏として設定する。

患者住所地別の来院患者割合(入院)



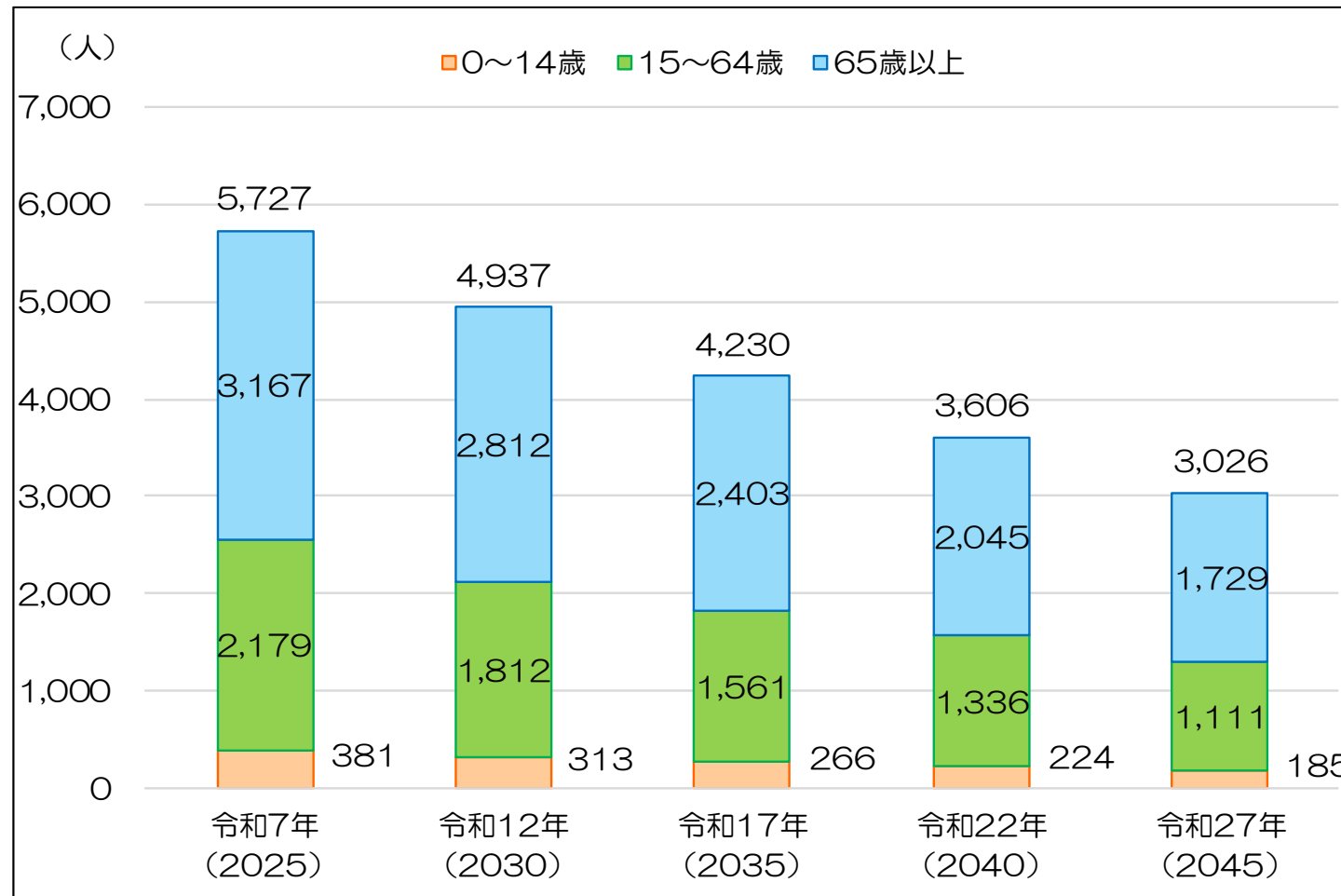
患者住所地別の来院患者割合(外来)



参考：令和4年4月～令和5年3月の患者住所地別来院患者数を集計

1-28. 将来人口推計(日南病院診療圏)

当院の診療圏の将来人口推計を見ると、令和7(2025)年時点で5,727人いる人口が、令和27(2045)年には3,026人になり、今後20年間で2,701人(47.2%)減少していくことが推計される。

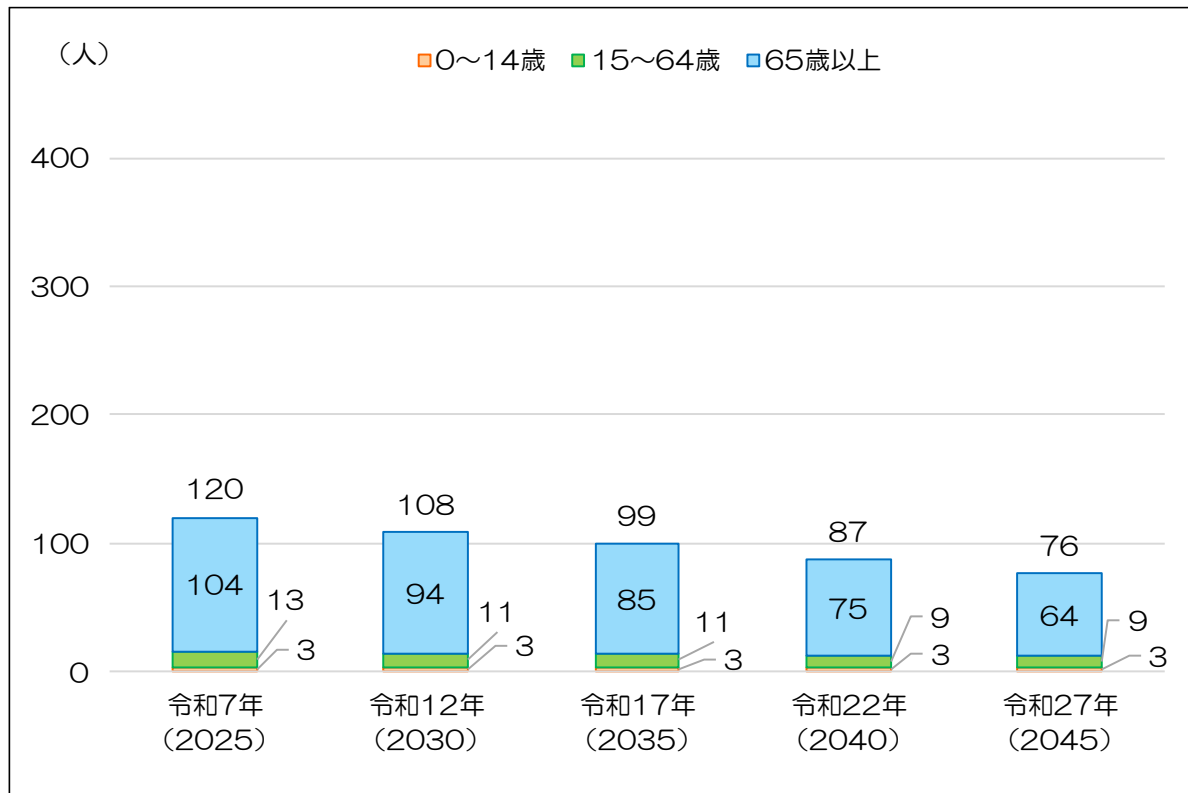


注：国立社会保障・人口問題研究所の推計結果を参考に、黒坂地区の人口は日野町の、旧神郷町の人口は新見市に対する人口比率で計算

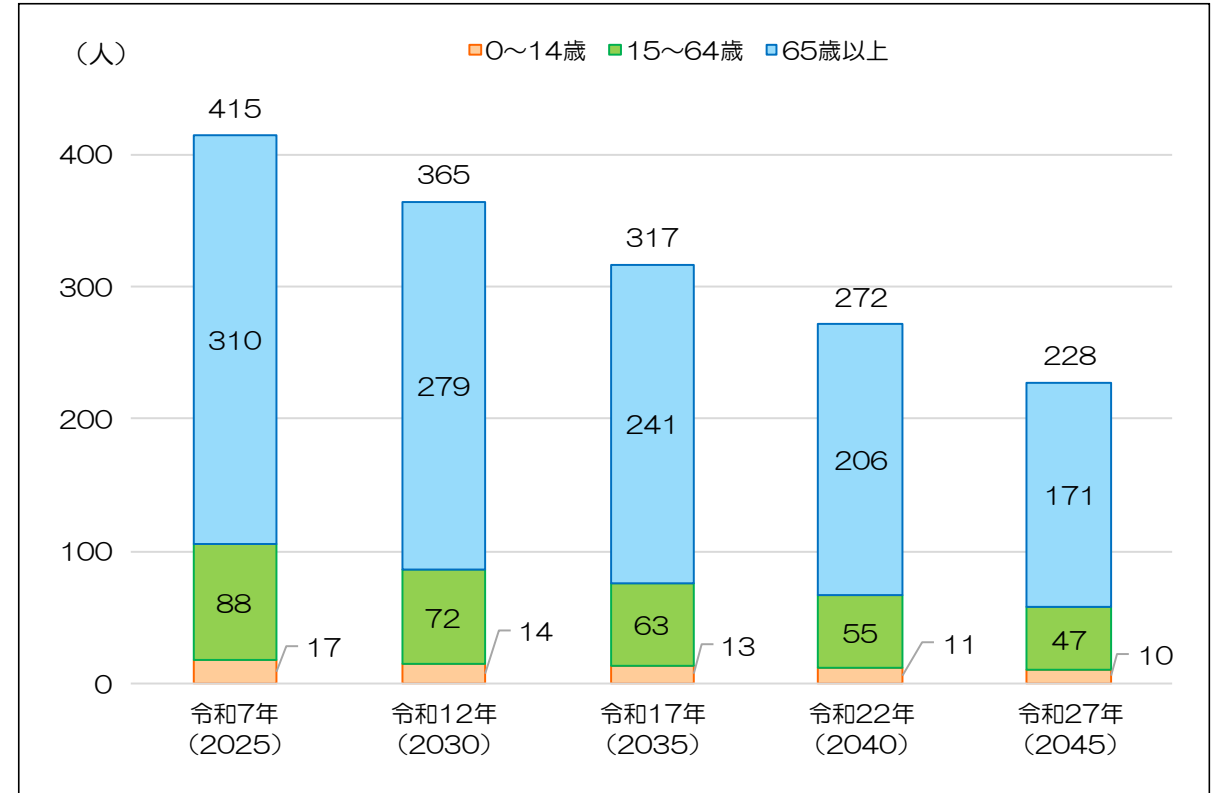
1-29. 将来患者数の予測(日南病院診療圏全体)

診療圏全体の将来患者数は、「将来人口推計(国立社会保障・人口問題研究所)×受療率(厚生労働省患者調査)」により予測した。令和7(2025)年から27(2045)年の20年間で、入院で44人(36.7%)、外来で187人(45.1%)減少すると予測される。

将来患者数の予測 (入院)



将来患者数の予測 (外来)



注：将来人口推計及び令和2年患者調査による。

1-30. 当院の一日当たりの将来患者数の予測(入院)

当院の将来患者数は、診療圏の地域ごとに、日南町患者数(日南町全体の将来患者数×令和5年1月分の国保・後期高齢者の当院利用状況割合)・日野町黒坂地区及び岡山県新見市(旧神郷町)地区の患者数(各地区全体の将来患者数×当院への受療見込み割合)を予測した。

診療圏全体で令和7(2025)年に51人いる入院患者数は、令和27(2045)年になると33人となり、20年間で18人(35.3%)減少するが、構成比は横ばいで推移していくと予測される。

区 分		令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)
入 院	日南町患者数 (構成比)	42人 (82.4%)	37人 (82.2%)	34人 (82.9%)	31人 (81.6%)	27人 (81.8%)
	日野町黒坂地区 (構成比)	4人 (7.8%)	3人 (6.7%)	3人 (7.3%)	3人 (7.9%)	2人 (6.1%)
	新見市旧神郷町 (構成比)	5人 (9.8%)	5人 (11.1%)	4人 (9.8%)	4人 (10.5%)	4人 (12.1%)
	日南病院将来患者数合計 (構成比)	51人 (100.0%)	45人 (100.0%)	41人 (100.0%)	38人 (100.0%)	33人 (100.0%)

注：「日南病院将来患者数合計」は、日南病院診療圏の将来患者数のうち、R4年度の日南町における国民健康保険や後期高齢者の患者受療動向等を基に予測したものであり、新病院の病床数とは異なります。

1-31. 当院の一日当たりの将来患者数の予測(外来)

診療圏全体で令和7(2025)年133人いる外来患者数は、令和27(2045)年になると78人となり、20年間で55人(41.4%)減少していくが、構成比は横ばいで推移していくことが予測される。

区 分		令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)
外 来	日南町計 患者数 (構成比)	122人 (91.7%)	110人 (90.9%)	99人 (91.7%)	85人 (91.4%)	71人 (91.0%)
	日野町黒坂地区計 患者数 (構成比)	5人 (3.8%)	5人 (4.1%)	4人 (3.7%)	4人 (4.3%)	3人 (3.8%)
	新見市旧神郷町計 患者数 (構成比)	6人 (4.5%)	6人 (5.0%)	5人 (4.6%)	4人 (4.3%)	4人 (5.1%)
	日南病院将来患者数合計 (構成比)	133人 (100.0%)	121人 (100.0%)	108人 (100.0%)	93人 (100.0%)	78人 (100.0%)

注：「日南病院将来患者数合計」は、日南病院診療圏の将来患者数のうち、R4年度の日南町における国民健康保険や後期高齢者の患者受療動向等を基に予測したものであり、新病院の病床数とは異なります。